



日本仮想化技術株式会社

QNAP  
Active Directory  
ドメインコントローラ  
構築手順書

2014年12月作成

## 目次

本書の概要 .....	3
QNAP で AD 環境を構築するネットワーク環境.....	3
Active Directory ドメインコントローラ構築.....	5
AD ユーザ作成 .....	13
AD ユーザ単独作成.....	14
AD ユーザ複数作成.....	25
共有フォルダアクセス許可追加 .....	33
ファイル共有設定確認.....	40

## **本書の概要**

本書は、QNAP の WebUI を使用して、QNAP を Active Directory (以下 AD) のドメインコントローラとして機能させるための構築を行います。

QNAP を AD ドメインコントローラとして設定することによって、Windows Server 2003 相当の AD 環境を構築することができ、下記の AD 機能を使用することが可能です。(QTS 4.1 以降で実現可能)

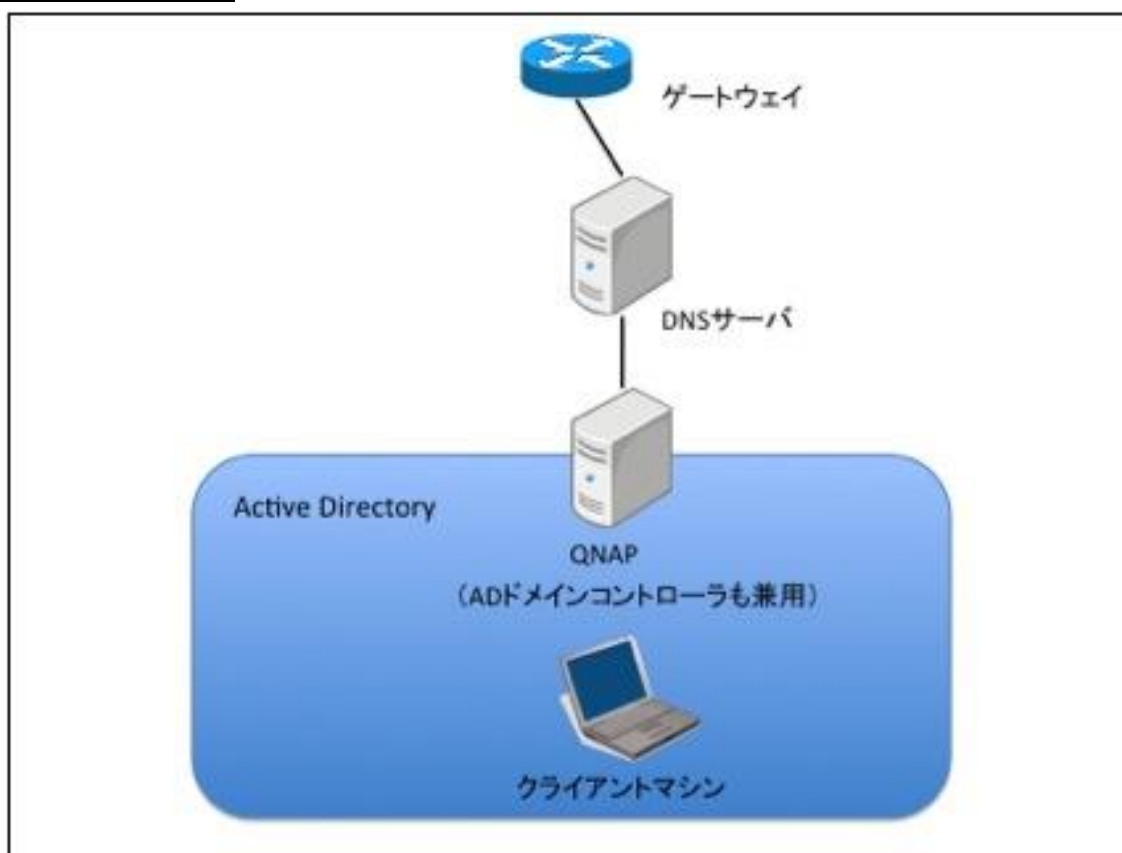
- ・ AD でのシングルサインオン認証
- ・ ユーザ / グループ管理の一元化
- ・ 共有ディレクトリ管理

本手順書では、その他に Active Directory ユーザ (以下 AD ユーザ) の作成、QNAP の共有フォルダへ作成した AD ユーザの追加を行う手順を記述します。

## **QNAP をドメインコントローラとして、AD 環境を構築するネットワーク環境**

本書では、次頁のネットワーク環境を用意して、QNAP が AD ドメインコントローラとして稼働する、AD 環境の構築を行います。

## 環境構成図



- ネットワーク : 192. 168. 10. xx / 255.255.255.0
- ゲートウェイ : 192. 168. 10. 1
- DNSサーバ : 192. 168. 10. 5
- QNAP : 192. 168. 10. 20
- クライアントマシン : 192. 168. 10. 100

本書では、クライアントマシンより WebUI を使用して QNAP にアクセスし、作業を行います。QNAP のネットワーク設定・WebUI の接続方法は、他 QNAP のマニュアルを参照してください。

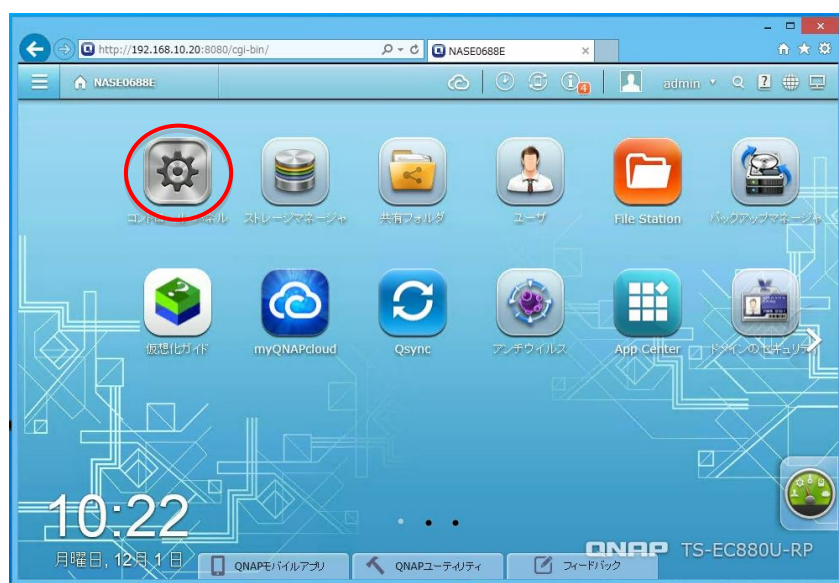
## Active Directory ドメインコントローラ構築

QNAP 上に AD ドメインコントローラを構築するには、クライアントマシンからの WebUI アクセスにより、下記の手順で構築します。

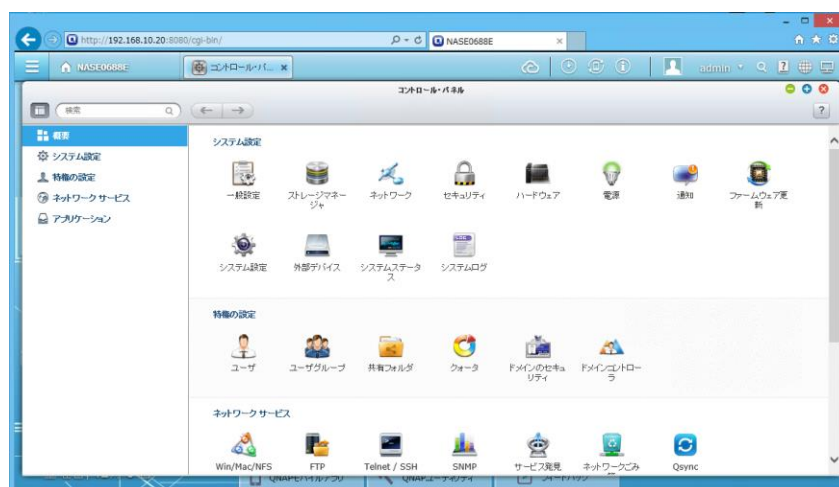
1. WebUI にログインします。  
(初期アカウント : admin、パスワード : admin)



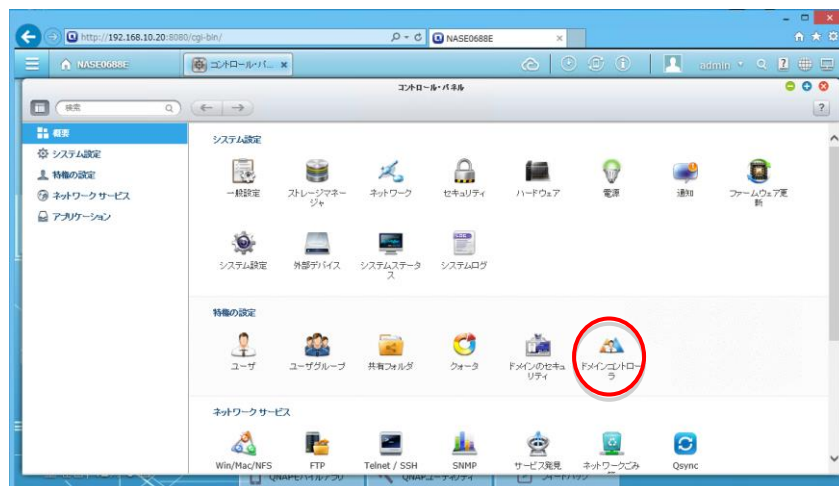
2. ログイン後、左上の[コントロールパネル]をクリックします。



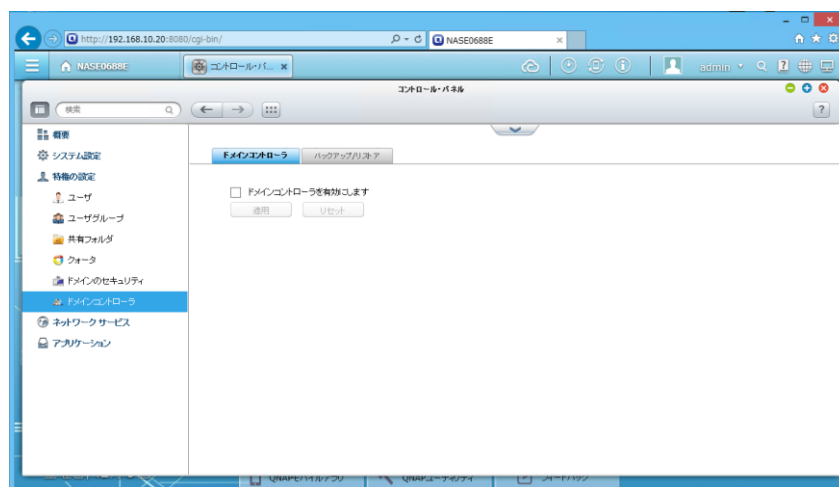
3. コントロールパネルが起動します。



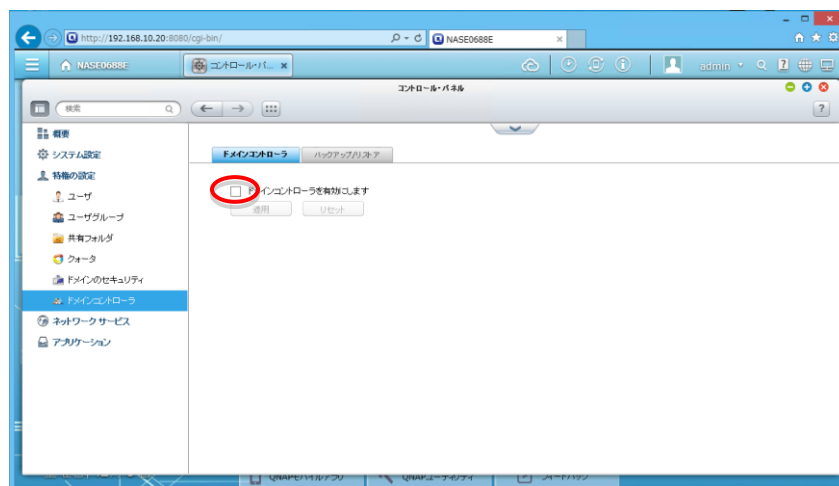
4. コントロールパネル右側の[ドメインコントローラ]アイコンをクリックします。



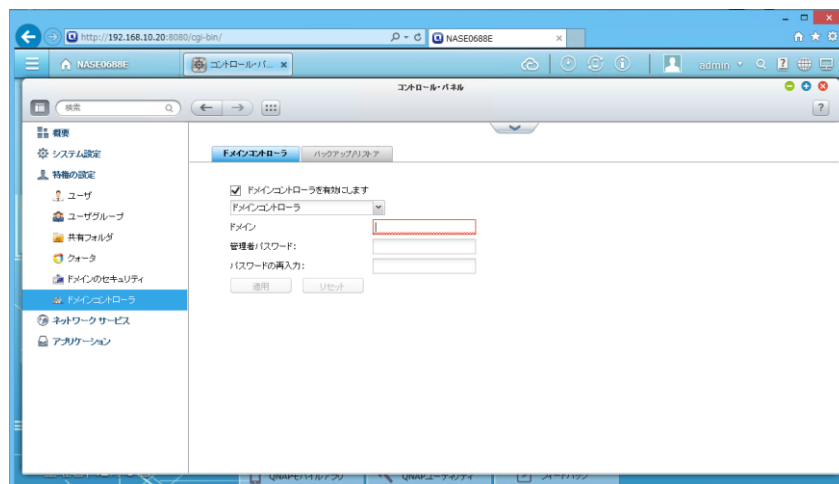
5. AD ドメインコントローラ設定画面が表示されます。



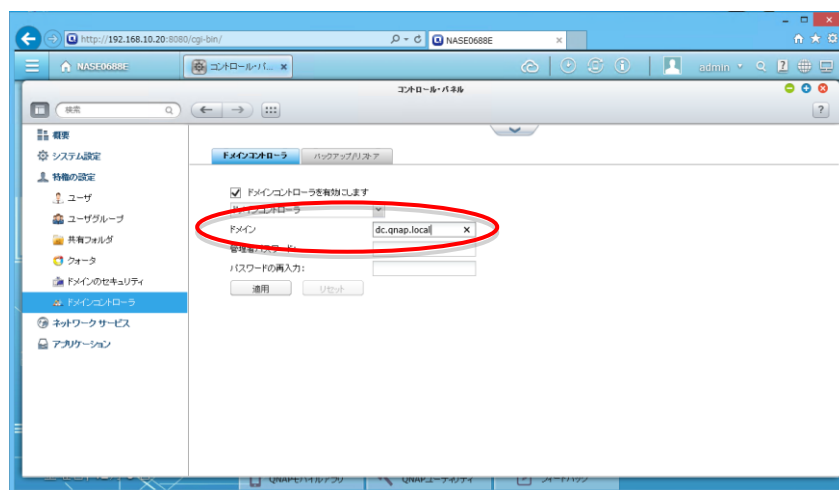
6. [ドメインコントローラを有効にします]のチェックボックスをクリックします。



7. AD ドメインコントローラの設定項目が表示されます。

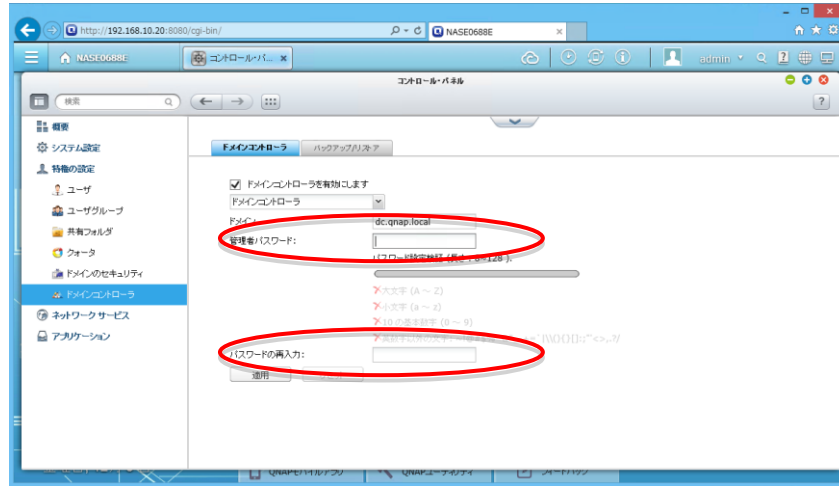


8. [ドメイン]に任意のドメイン名を入力します。





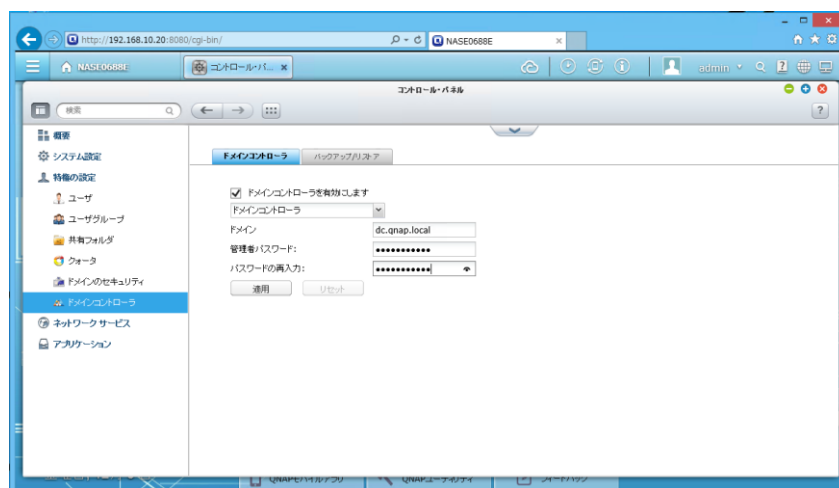
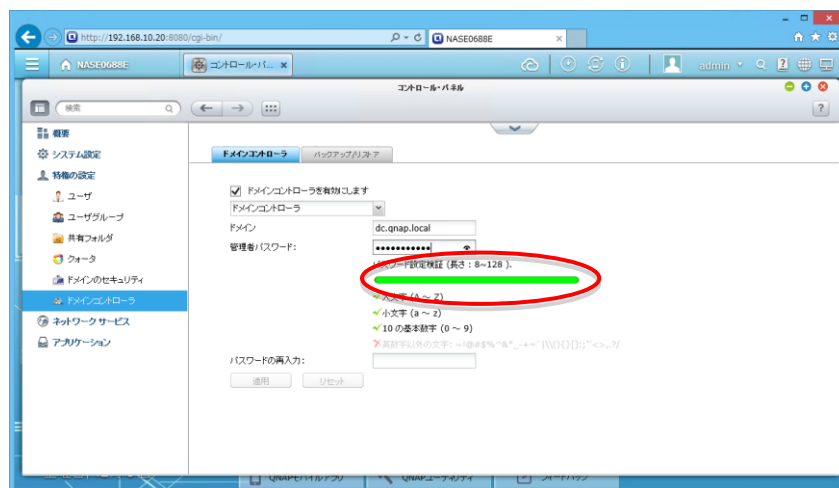
9. [管理者パスワード]、[パスワードの再入力]に任意のパスワードを入力します。



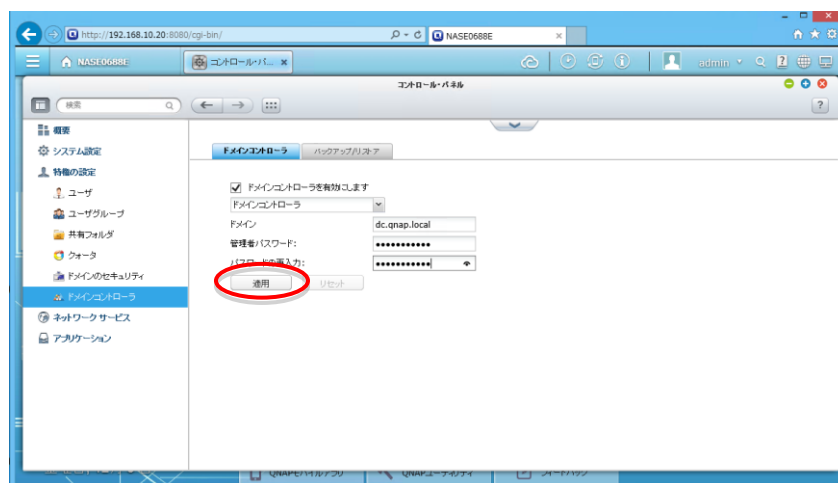
パスワードは下記のいずれか 3 種類の文字を含む 8 文字以上の文字列を入力してください。

- アルファベット大文字(A~Z)
- アルファベット小文字(a~z)
- 数字(0~9)
- 記号(~!@#\$%~&\* \_-+= `|¥¥(){}[]:;'"<> ,. ? /)

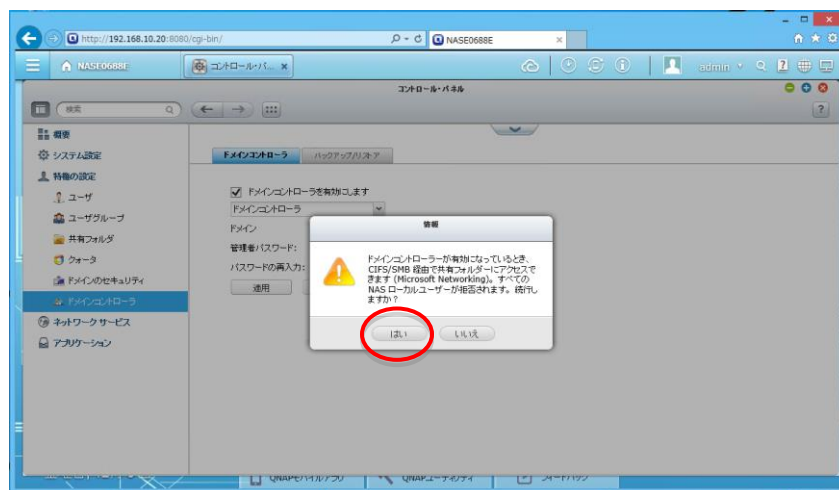
全ての条件を満たすとパスワード入力部分の下のインジケータが緑色になります。



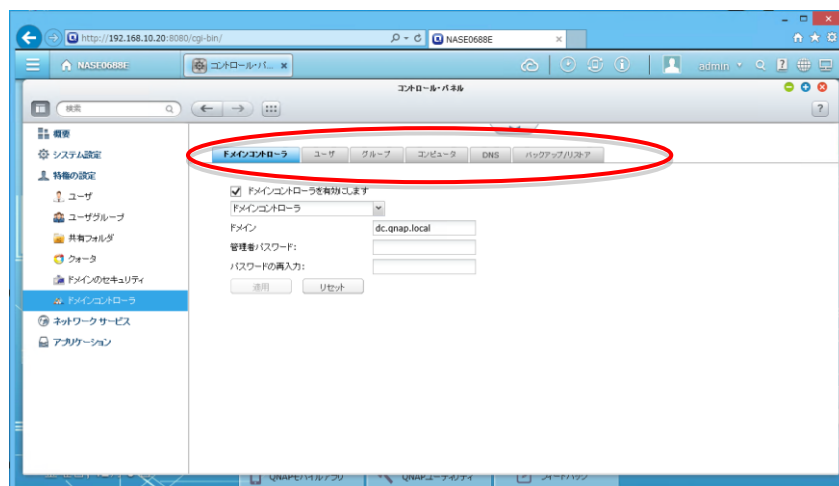
10. [適用]をクリックしてドメインコントローラを構築します。



QNAP のローカルユーザが使用できなくなる旨警告が表示されますが[はい]をクリックして続行します。



作成に成功すると、ドメインコントローラの設定画面に複数個のタブが表示されます。



## **AD ユーザ作成**

AD ドメインコントローラの構築は終わりましたが、ユーザはまだ管理者ユーザのみであり、一般に使用するユーザは存在しませんので、一般ユーザ用のアカウントを作成します。ユーザの作成方法はいくつかありますが、本ドキュメントでは

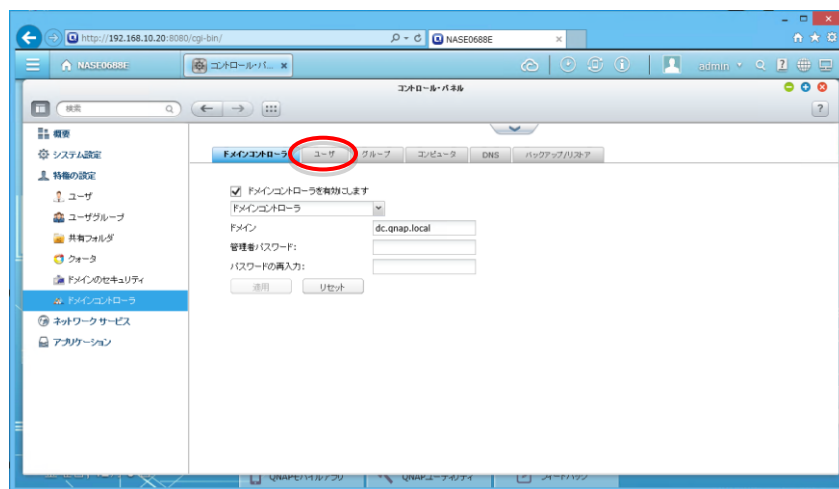
- ・ 単独ユーザ作成
- ・ 複数ユーザ作成

上記二つのユーザ作成方法を説明いたします。

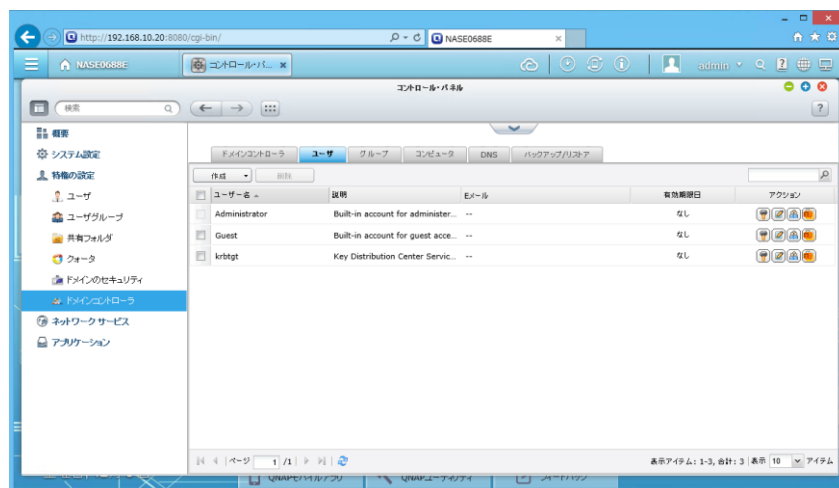
## AD ユーザ単独作成

AD ユーザを個別で作成する場合、下記の手順で AD ユーザを作成します。  
(今回の例では、「DCuser」というユーザを作成します。)

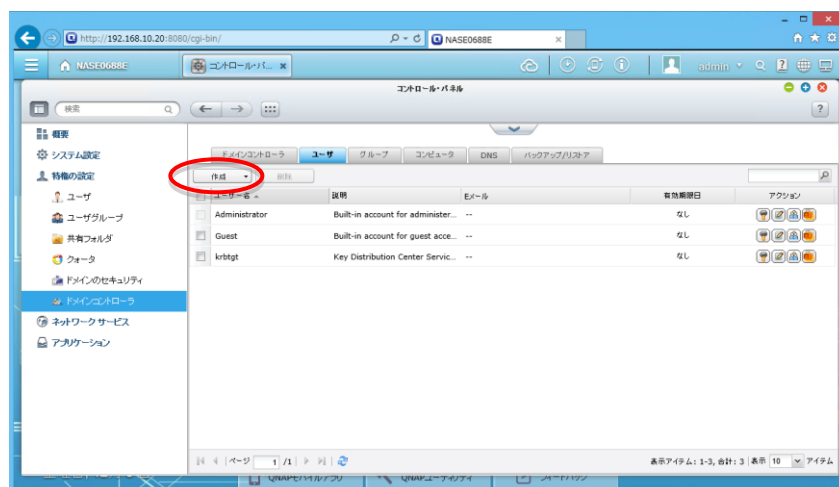
1. AD ドメインコントローラ設定画面の[ユーザ]タブをクリックします。



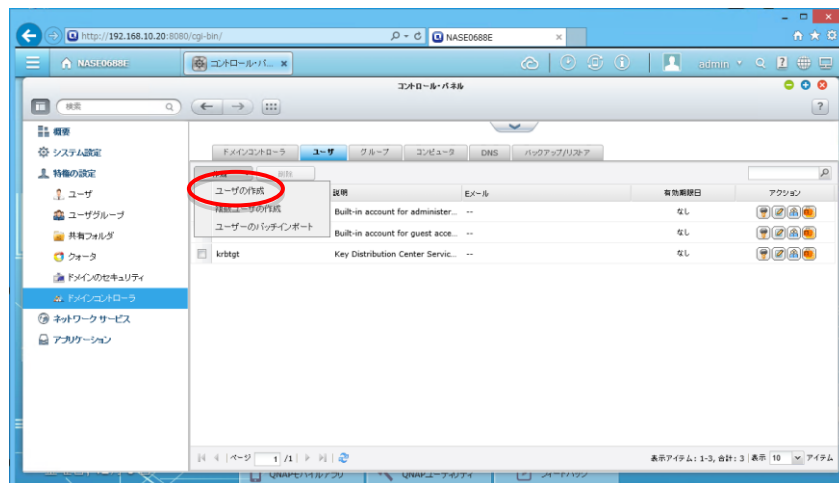
2. AD ユーザー一覧が表示されます。



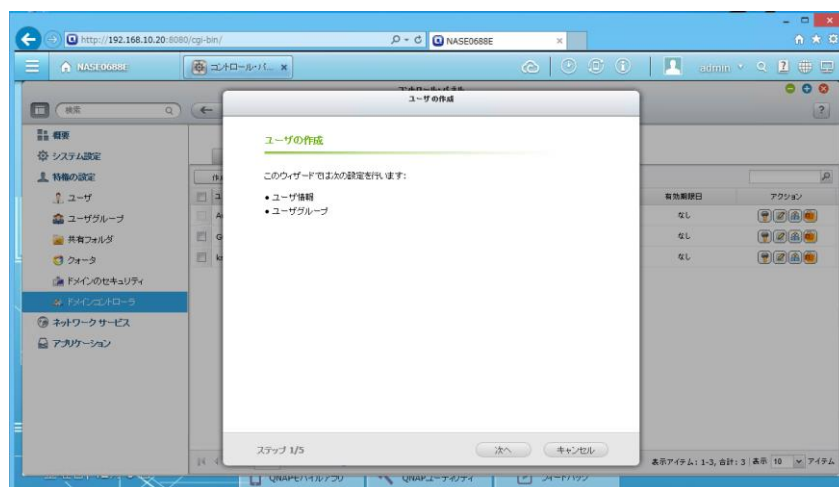
3. 一覧左上の[作成]ボタンをクリックします。



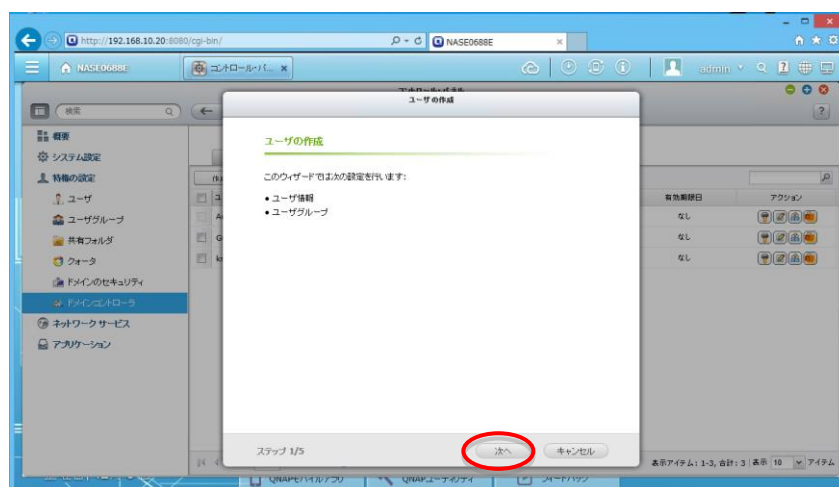
4. ドロップダウンリストが表示されますので[ユーザの作成]をクリックします。



5. AD ユーザの作成ウィザードが表示されます。

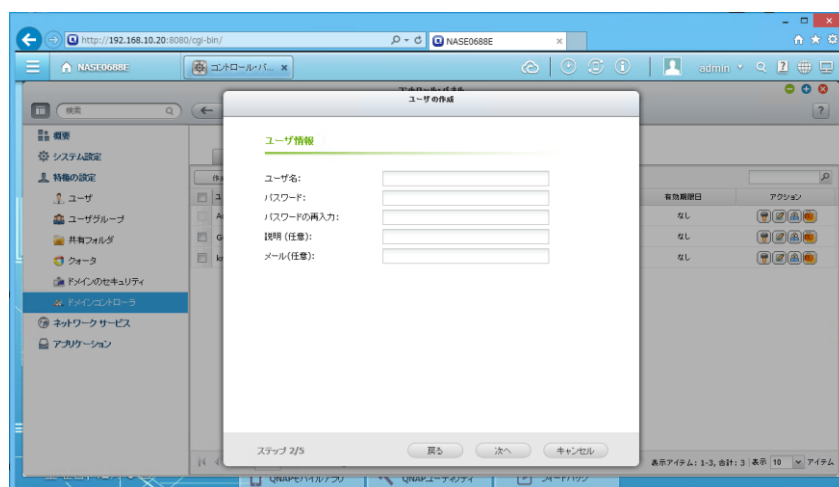


6. [次へ]をクリックします。

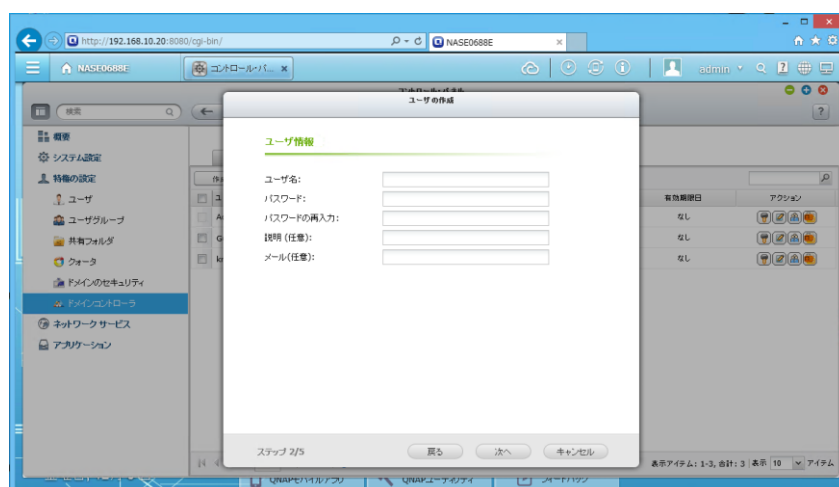


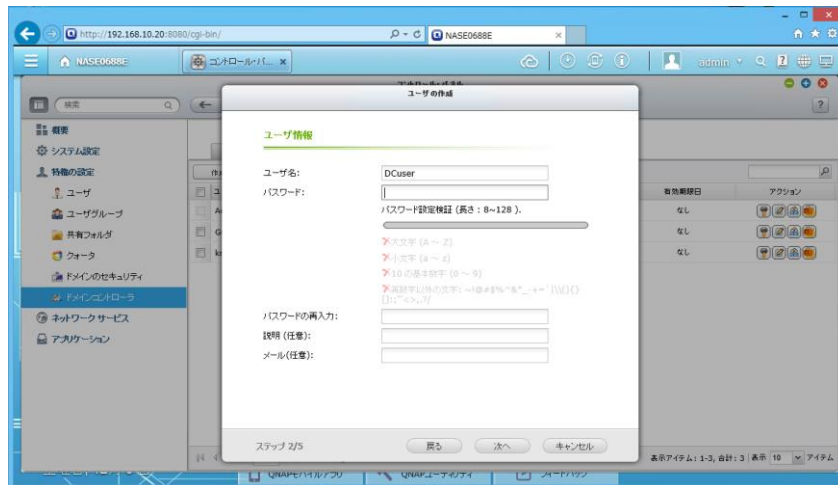
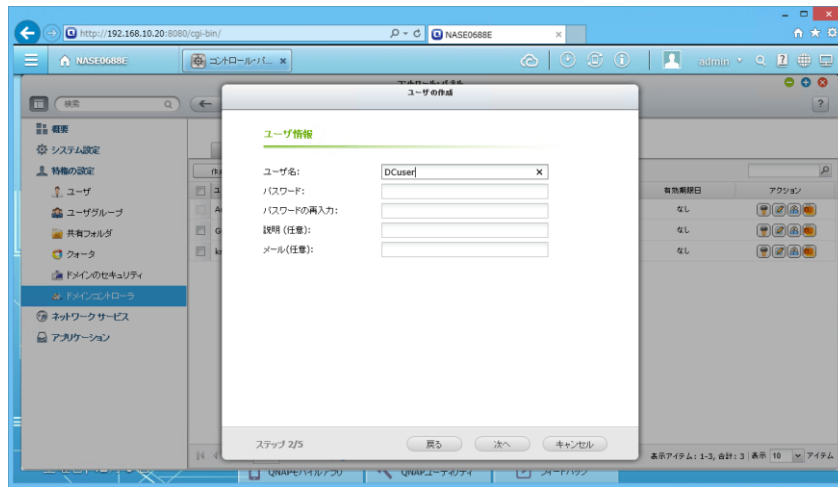


7. ユーザ名とパスワードの設定へ移ります。



8. [ユーザ名]と[パスワード]、[パスワードの再入力]を入力します。

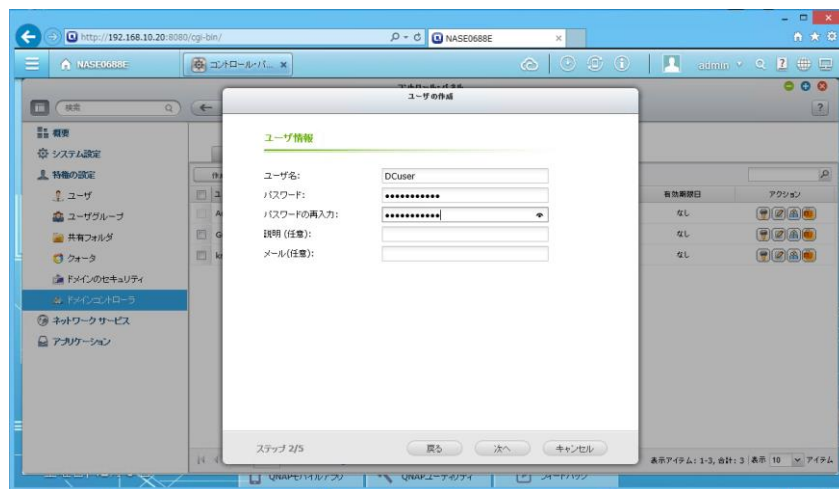
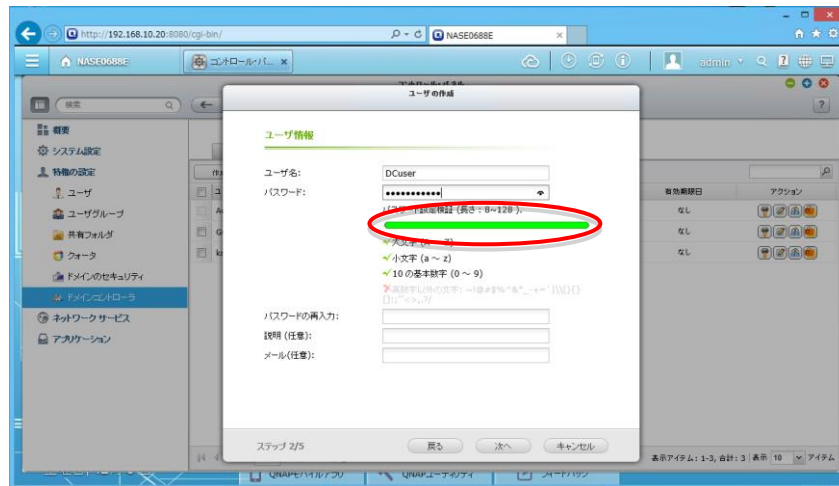




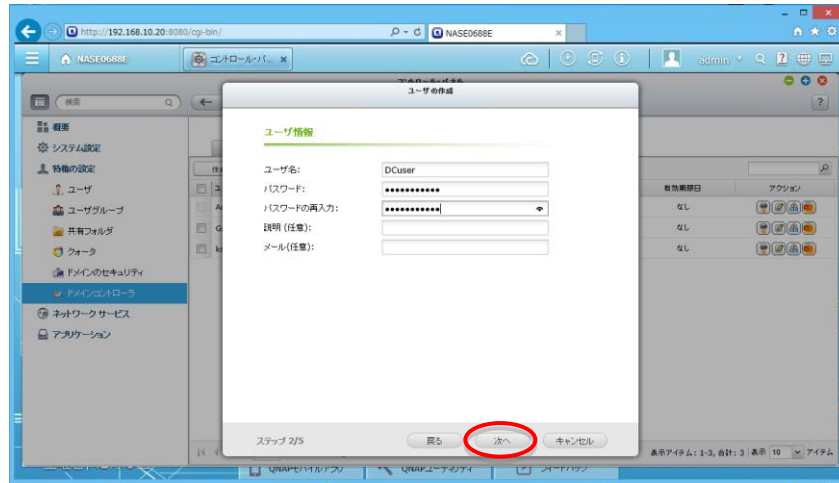
パスワードは下記のいずれか 3 種類の文字を含む 8 文字以上の文字列を入力してください。

- ・ アルファベット大文字(A~Z)
- ・ アルファベット小文字(a~z)
- ・ 数字(0~9)
- ・ 記号(~!@#\$%^&\*\_-+=`|¥¥(){}[]:;'"<>.,?/))

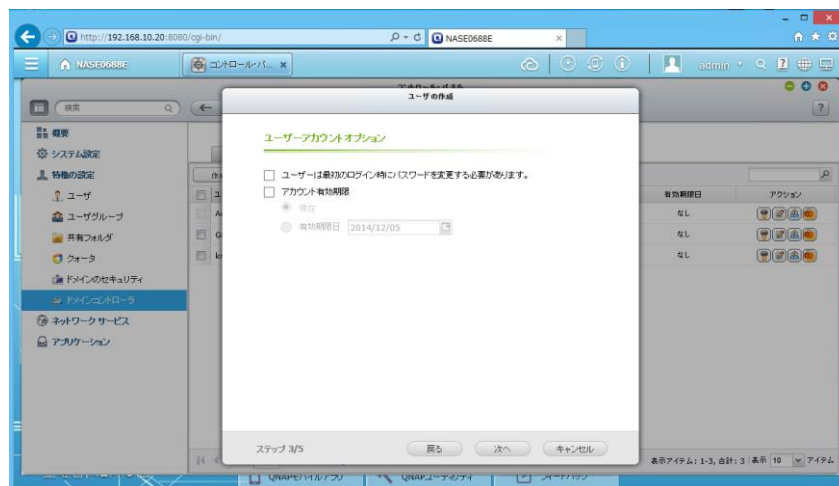
全ての条件を満たすとパスワード入力部分の下のインジケータが緑色になります。



9. [次へ]をクリックします。



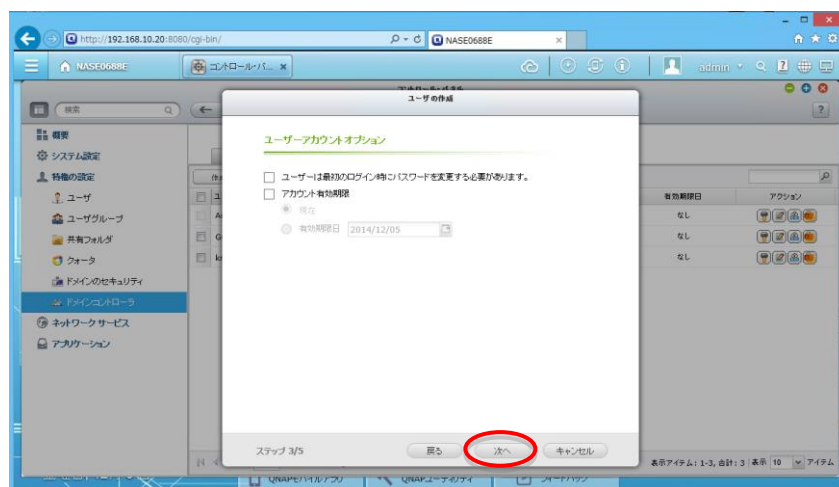
10. ユーザアカウントオプション設定へ移ります。



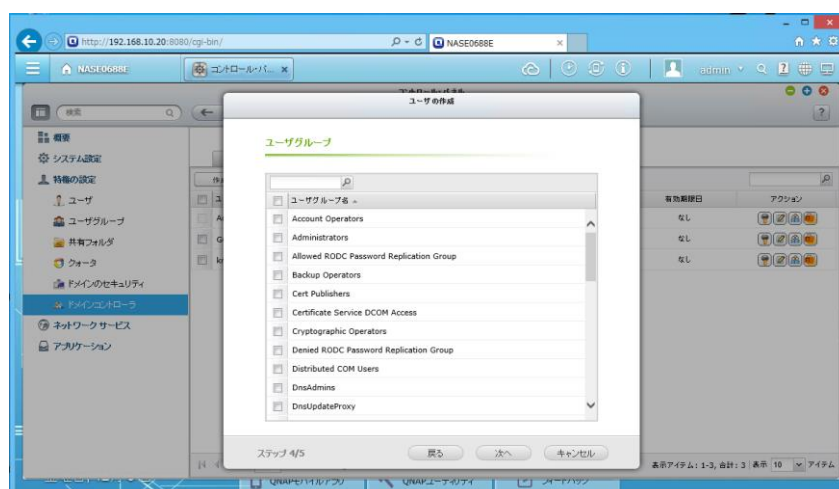
必要であれば下記項目をクリックしてチェックを入れ設定します

- ・ [ユーザーは最初のログイン時にパスワードを変更する必要があります。]
- ・ [アカウント有効期限]

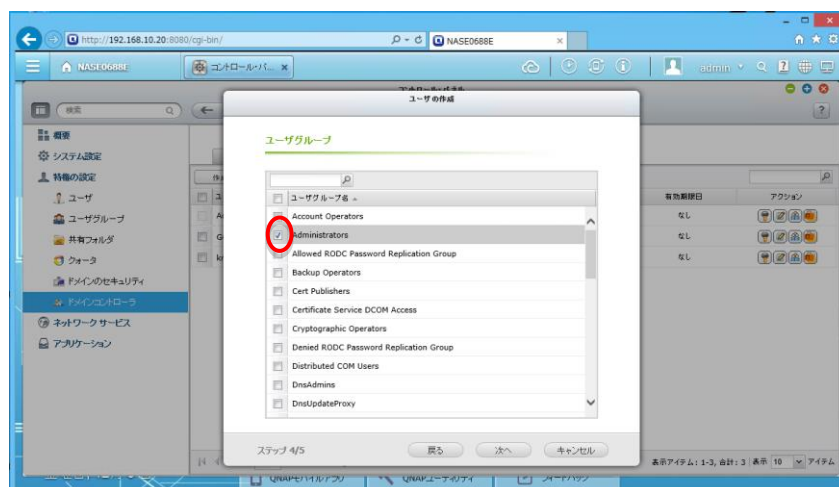
11. [次へ]をクリックします。



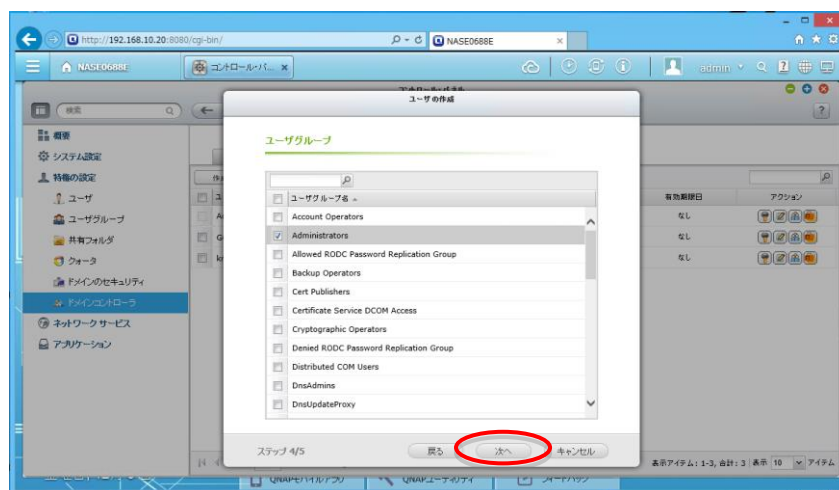
12. ユーザグループの設定へ移ります。



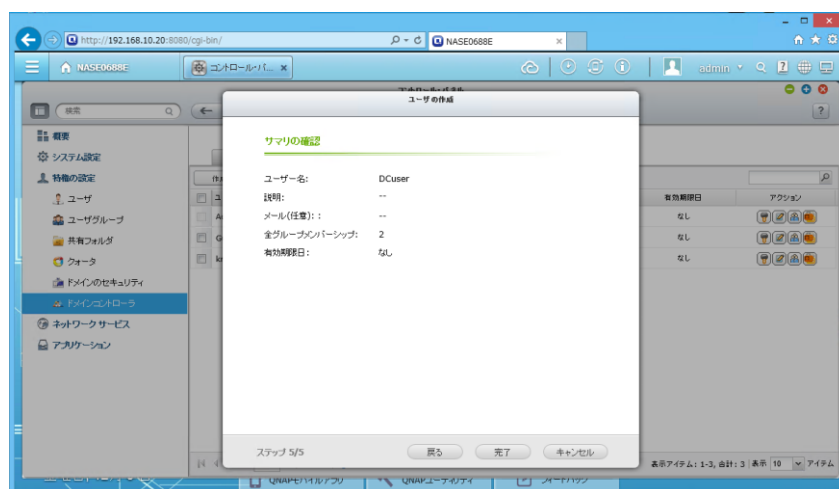
13. 設定するユーザグループをクリックしてチェックを入れます。



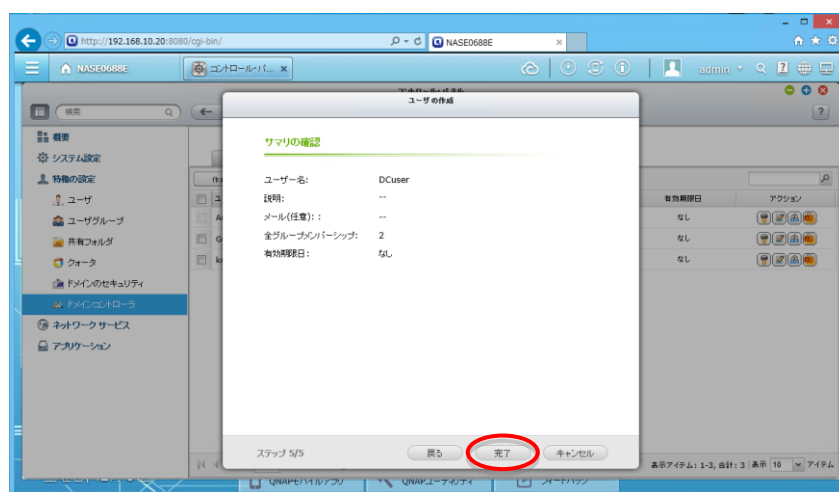
14. [次へ]をクリックします。



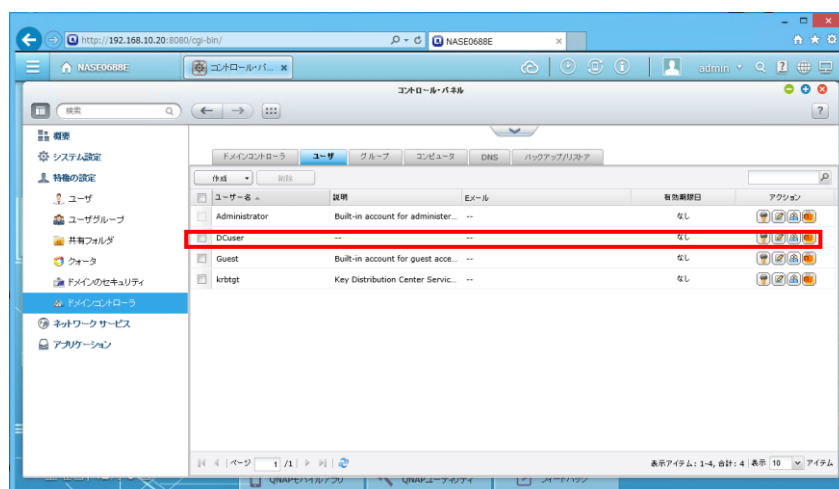
15. ユーザ作成の確認へ移ります。



16. [完了]をクリックしてユーザを作成します。



処理が完了すると、ユーザ「DCuser」が追加されます。



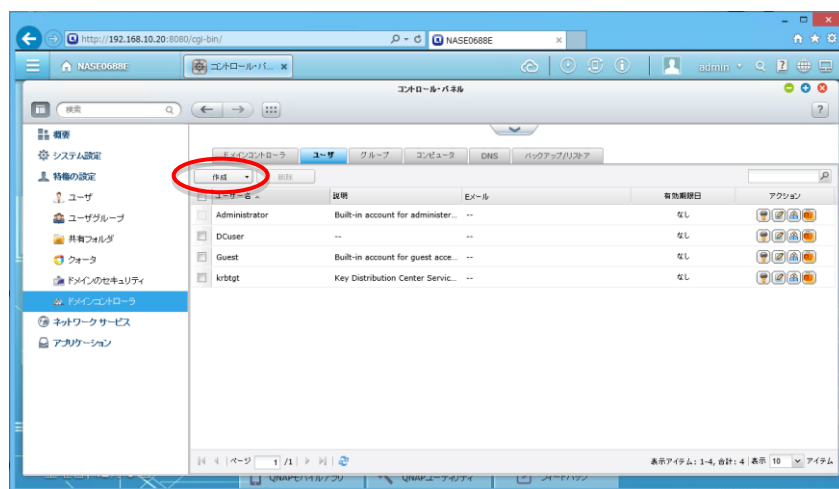


## AD ユーザ複数作成

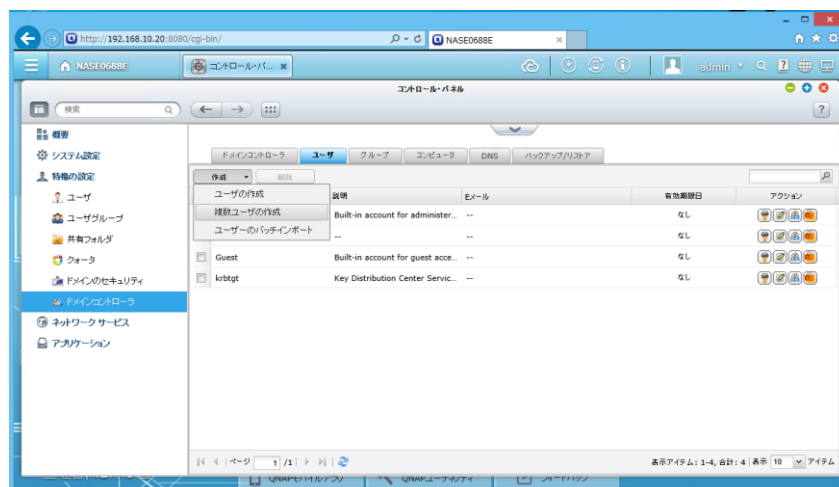
AD ユーザは番号付きであれば、複数のユーザを作成することも可能です。下記の手順で複数のユーザの追加を行えます。

(今回の例では、「DCuser」というユーザをベースに3ユーザを作成します。)

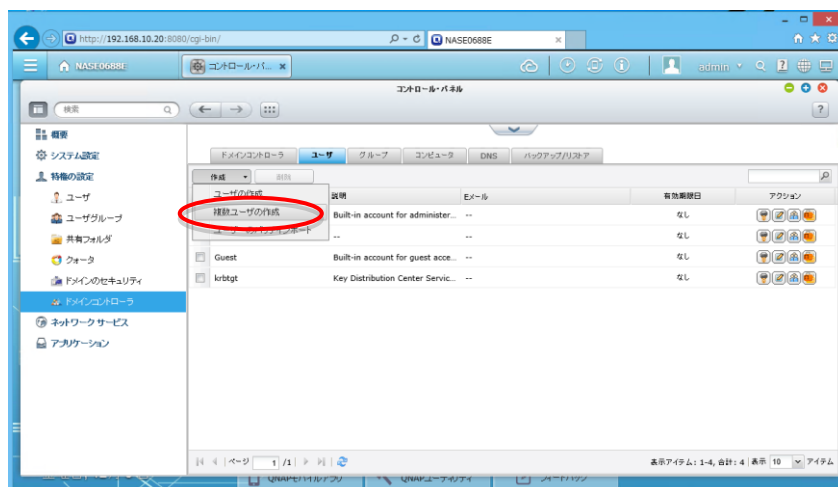
1. AD ユーザ一覧左上の[作成]ボタンをクリックします。



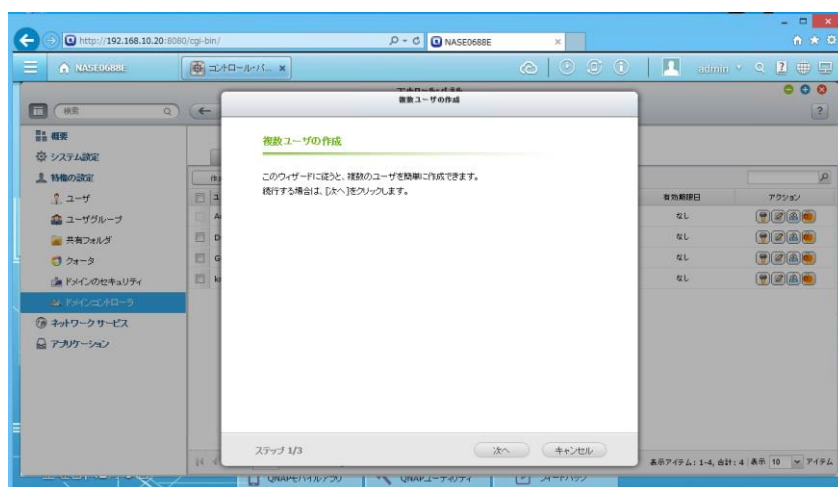
2. ドロップダウンリストが表示されます。



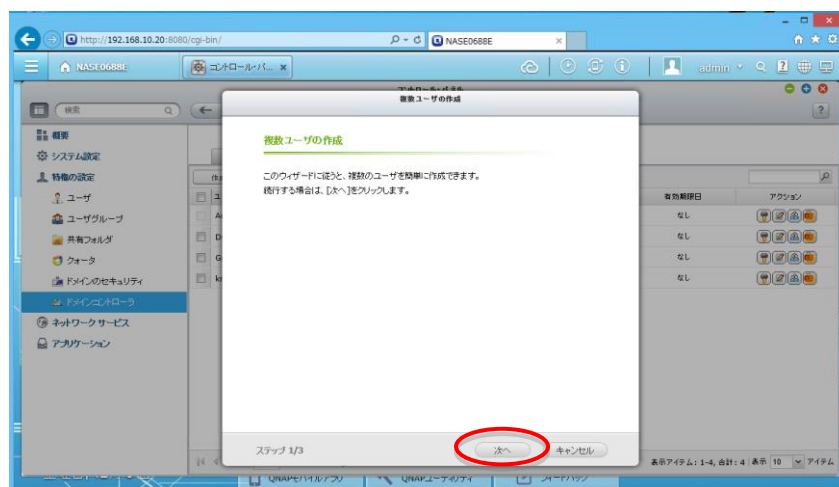
3. [複数ユーザの作成]をクリックします。



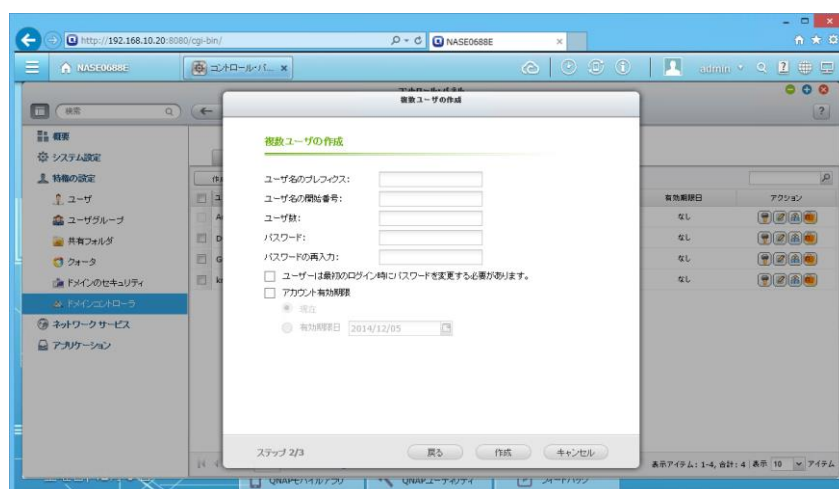
4. AD ユーザ作成ウィザードが表示されます。



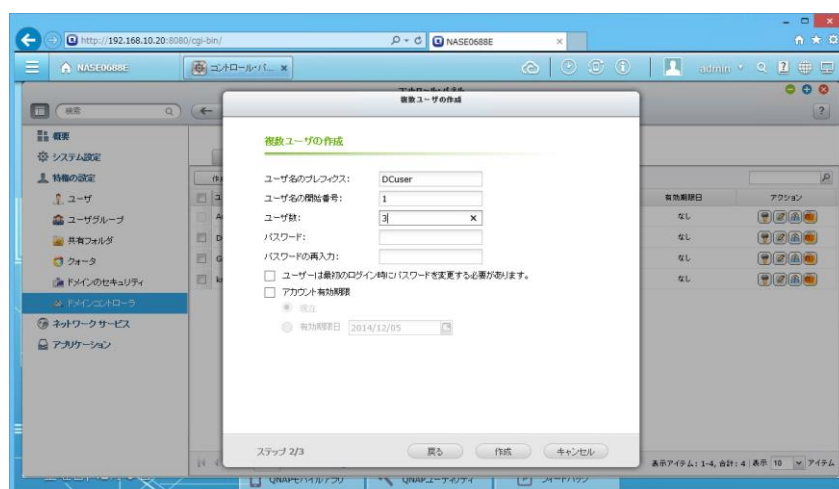
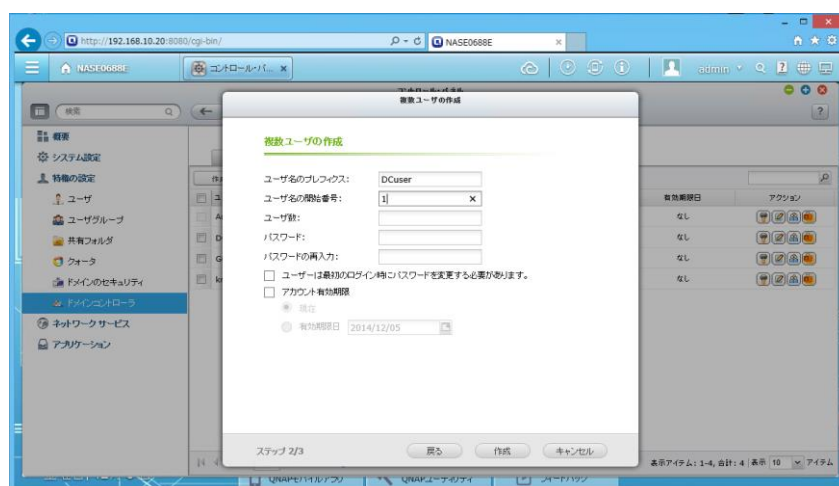
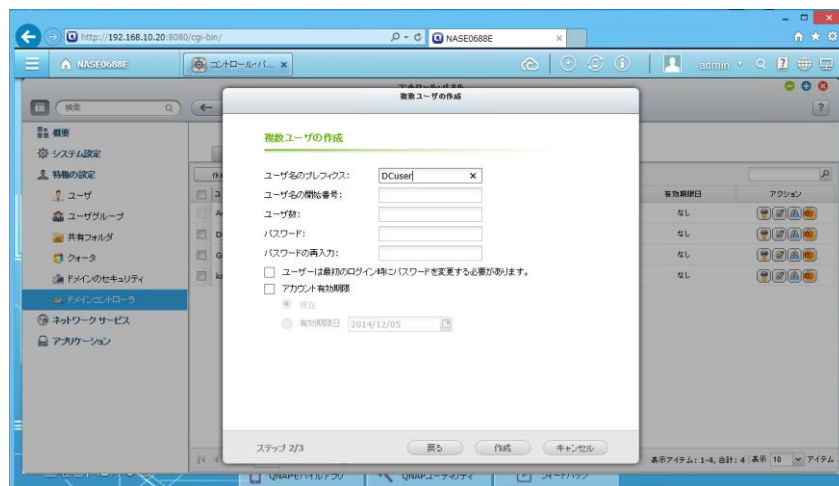
5. [次へ]をクリックします。

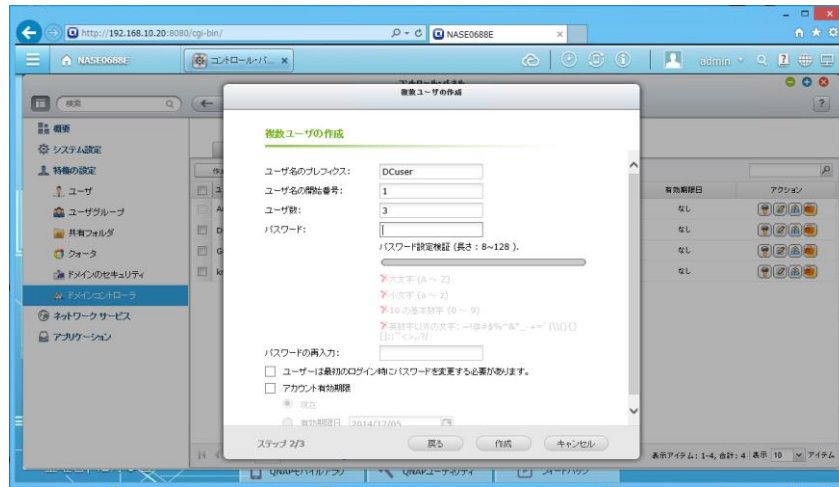


6. ユーザ名・パスワード設定へ移ります。



7. ユーザ名「DCuser」・ユーザ名の開始番号「1」・ユーザ数「3」・パスワード・パスワードの再入力を入力します。

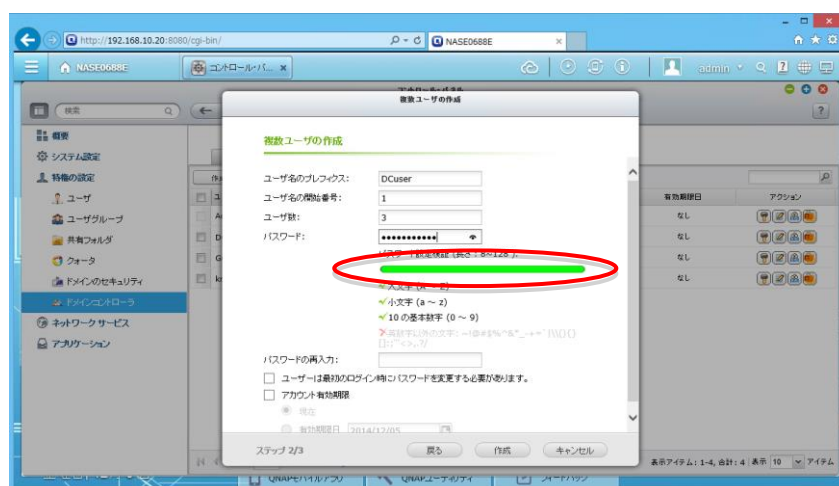


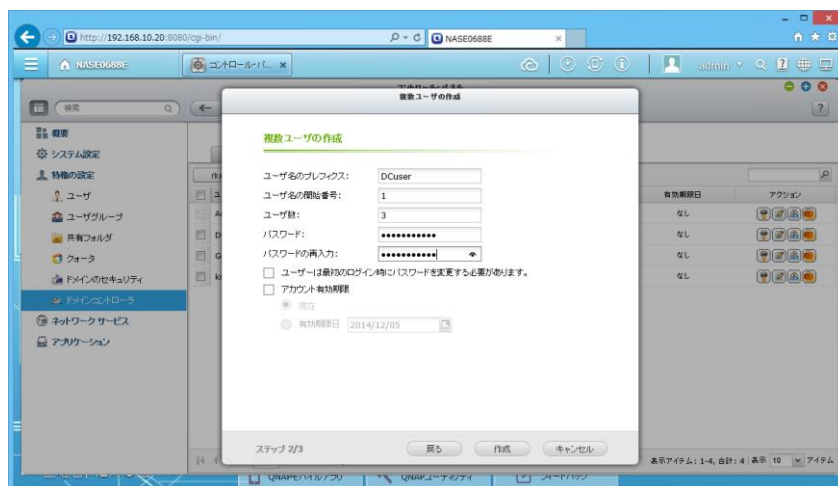


パスワードは下記のいずれか 3 種類の文字を含む 8 文字以上の文字列を入力してください。

- アルファベット大文字(A~Z)
- アルファベット小文字(a~z)
- 数字(0~9)
- 記号(~!@#\$%~&\*\_-+=`|¥¥(){}[]:;'"<>,.?/)

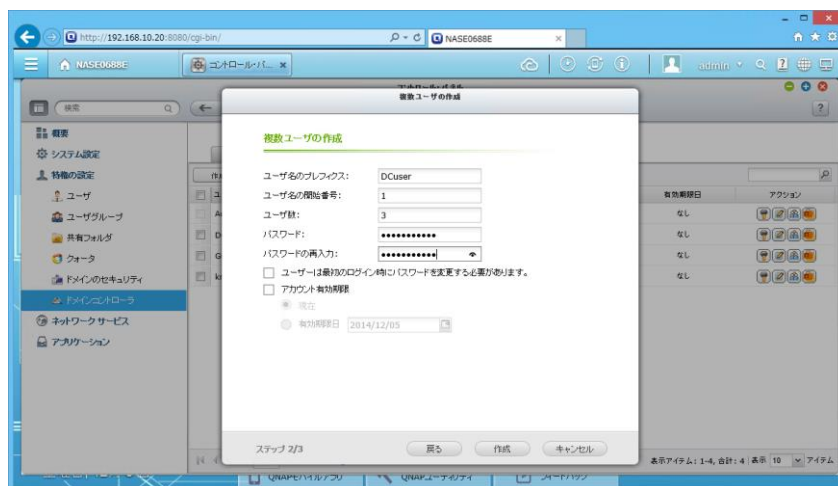
全ての条件を満たすとパスワード入力部分の下のインジケータが緑色になります。



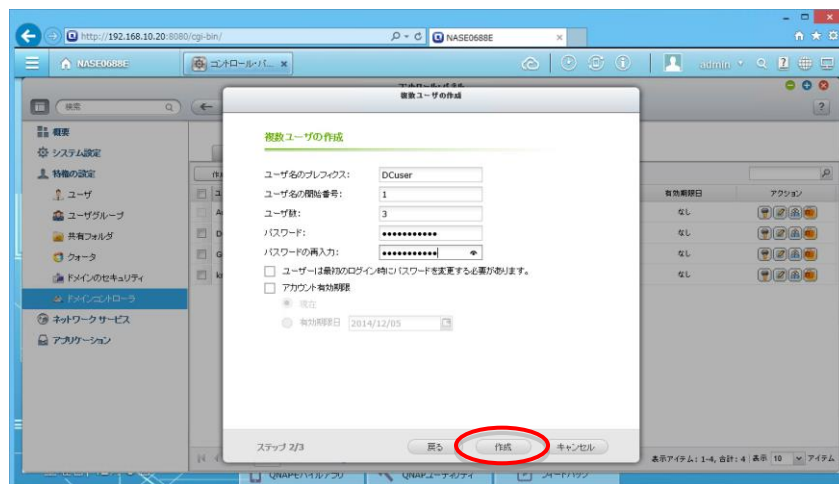


8. 必要であれば下記項目をクリックしてチェックを入れ設定します

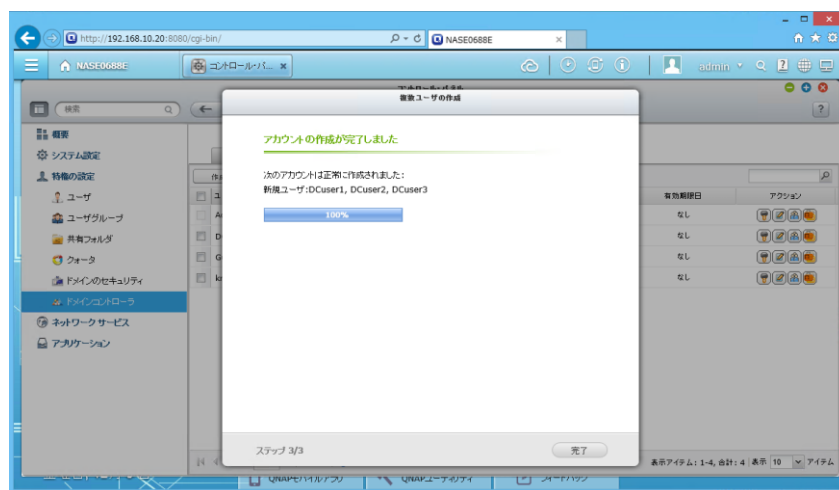
- ・ [ユーザーは最初のログイン時にパスワードを変更する必要があります。]
- ・ [アカウント有効期限]



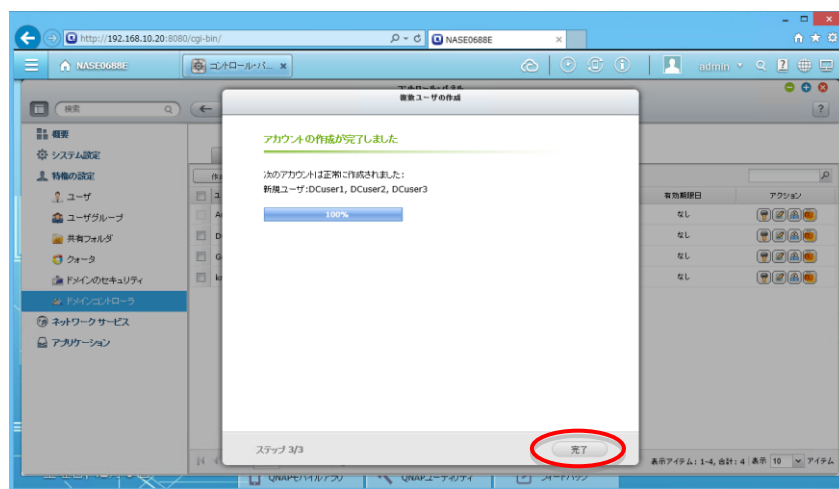
9. [作成]をクリックします。



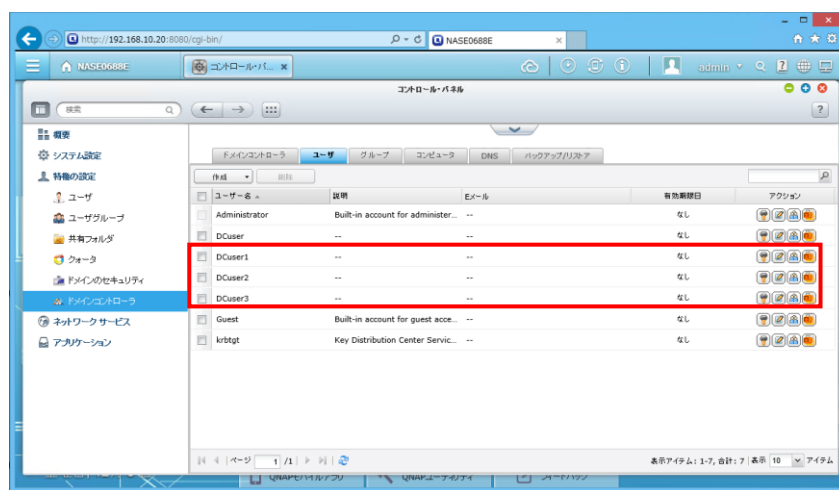
10. ユーザの作成を開始します。



11. ユーザの作成が終了したら[完了]をクリックして作成を終了します。



12. 設定したユーザ分だけユーザが作成されます。





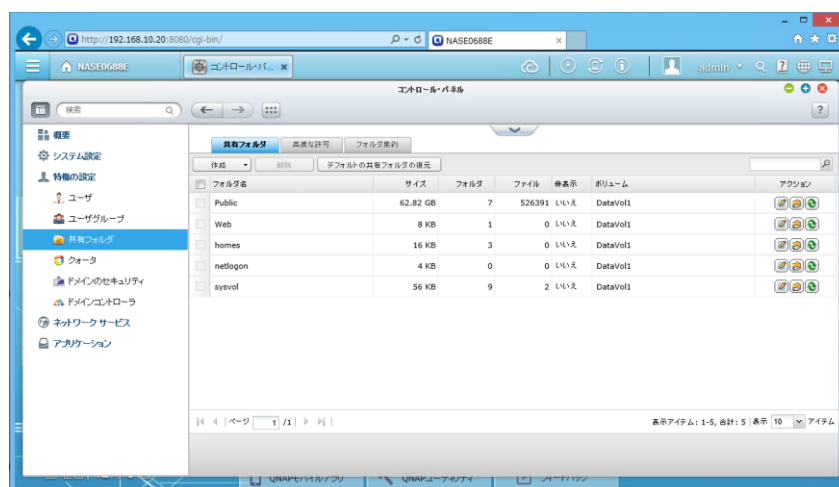
## 共有フォルダアクセス許可追加

前手順で Active Directory への参加は完了しましたが、このままでは AD ユーザが QNAP のフォルダにアクセスできないため、共有フォルダへのアクセスユーザに AD ユーザを追加します。

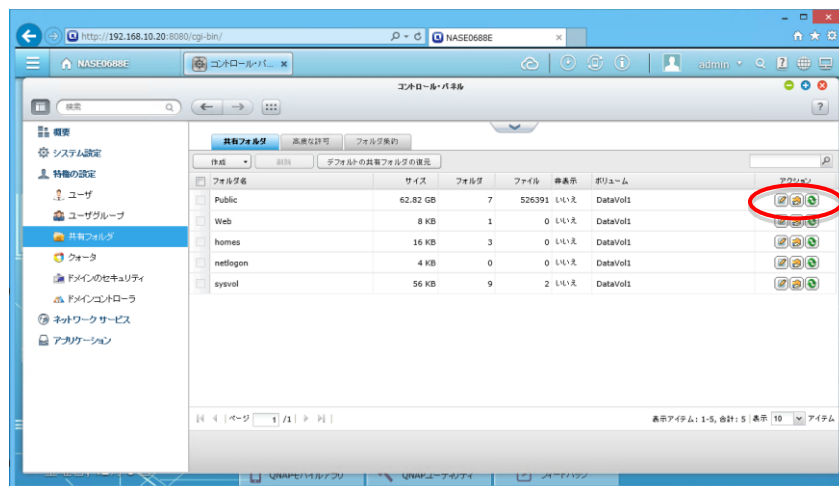
1. Web マネージャーの[共有フォルダ]アイコンをクリックします。



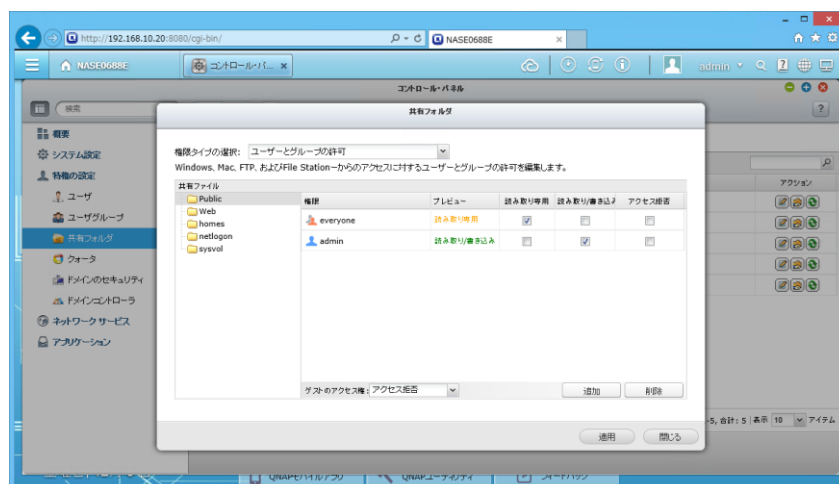
2. コントロールパネルが起動します、起動すると共有フォルダ一覧が表示されます。



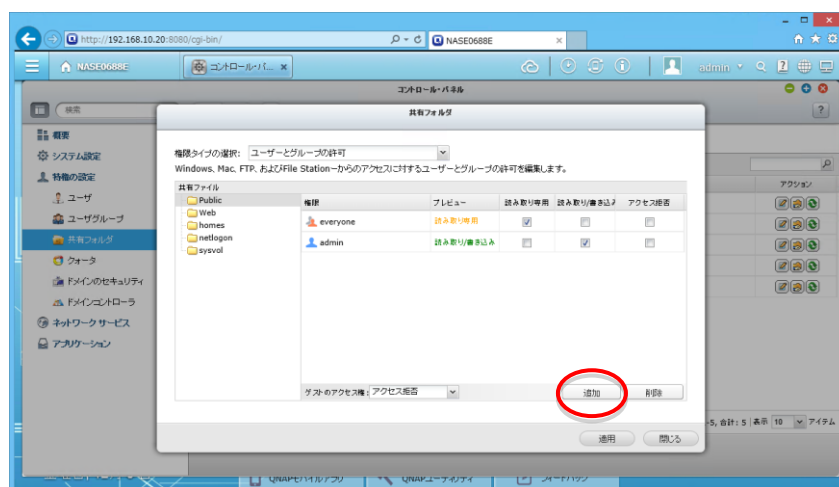
3. アクセス設定が可能なフォルダ名の右側に、[アクションアイコン]が 3 つ並んでいます。設定を行いたいフォルダの、真ん中のアイコンの[アクセス許可]アイコンをクリックします。



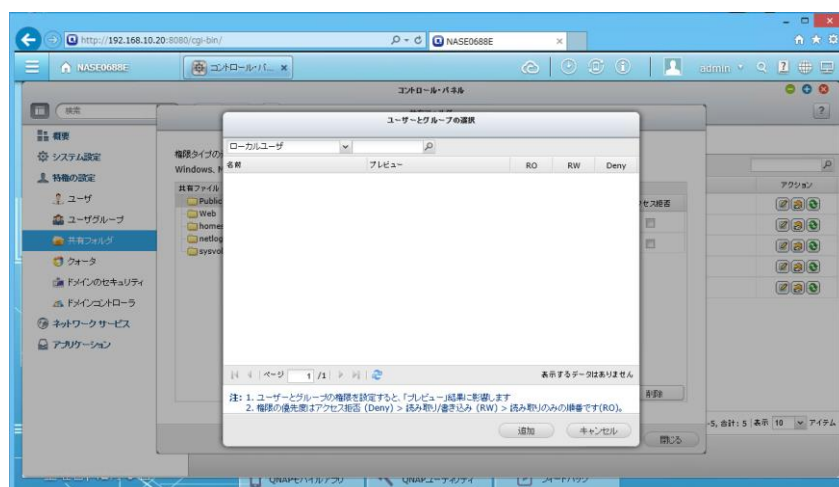
4. アクセス設定ウィンドウが表示されます。



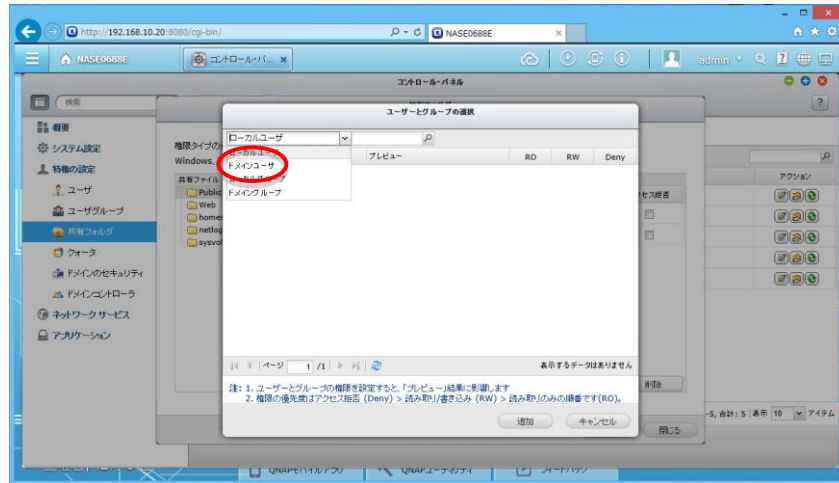
5. ウィンドウ右下の[追加]ボタンをクリックします。



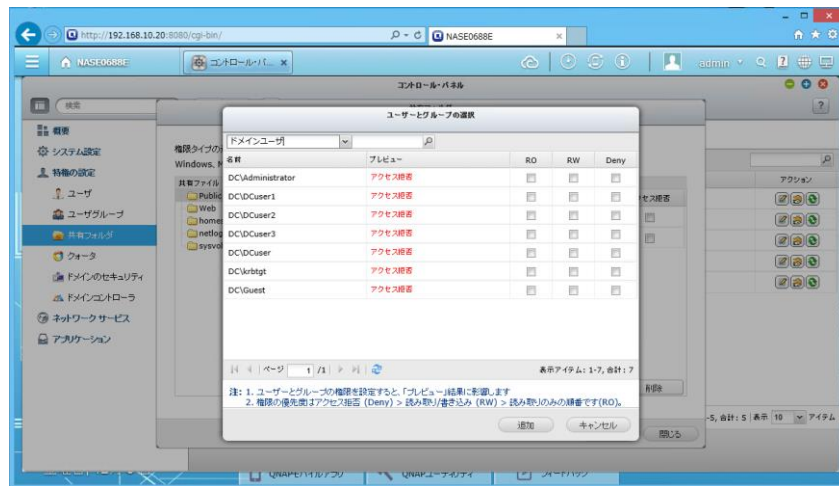
6. ユーザ設定ウィンドウが表示されます。



7. 左上のユーザ種別選択ドロップダウンリストより[ドメインユーザ]を選択します。

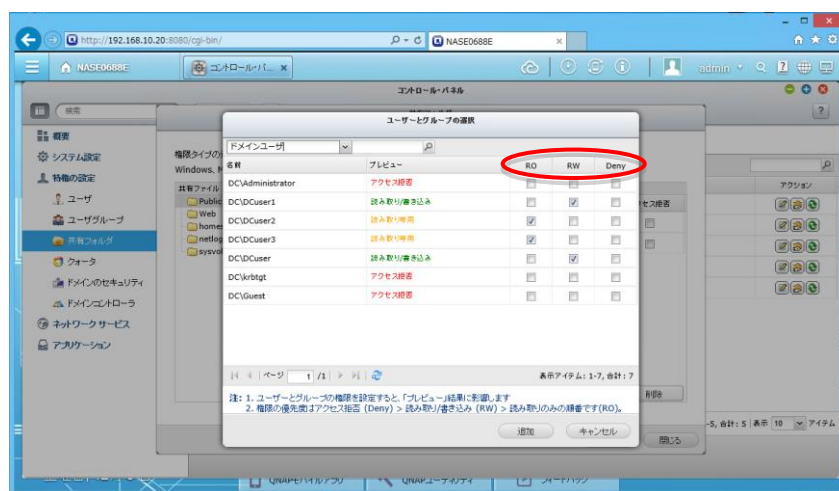


8. AD ユーザの一覧が表示されます。



9. アクセス設定を行うユーザの右側にあるチェックボックスにチェックを入れ、権限を設定します。権限は下記となります。

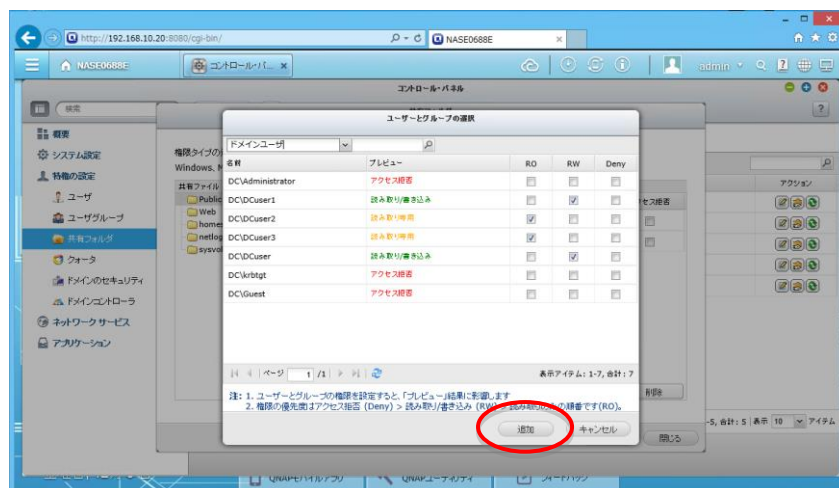
- RO : 読み取り専用
- RW : 読み取り/書き込み
- Deny : アクセス拒否



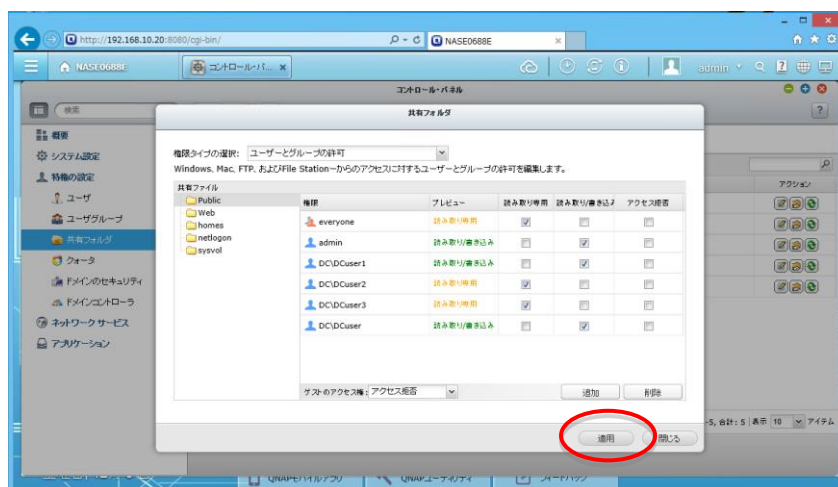
※権限の優先度は、「アクセス拒否 (Deny)」 > 「読み取り/書き込み (RW)」 > 「読み取り専用 (RO)」の順番です。

今回の例では、ユーザ「DCuser」「DCuser1」に対しては「読み取り/書き込み (RW)」、ユーザ「DCuser2」「DCuser3」に対しては「読み取り専用 (RO)」の権限を設定しています。

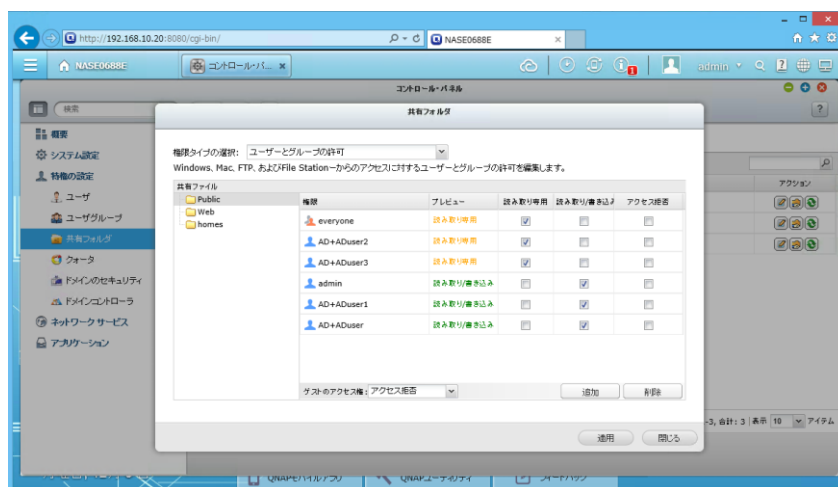
10. [追加]ボタンをクリックしてユーザを追加しユーザ設定ウィンドウを閉じます。



## 11. 必要なユーザを追加したら[適用]ボタンをクリックします



[適用]をクリックした後、[手順 9]で設定した、ユーザ「DCuser」「DCuser1」「DCuser2」「DCuser3」のアクセス設定が反映されていることを確認します。



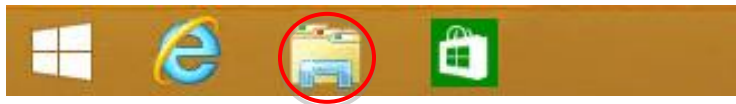
## ファイル共有設定確認

(ここからは設定ではなく、設定が反映されていることを確認する作業です。)

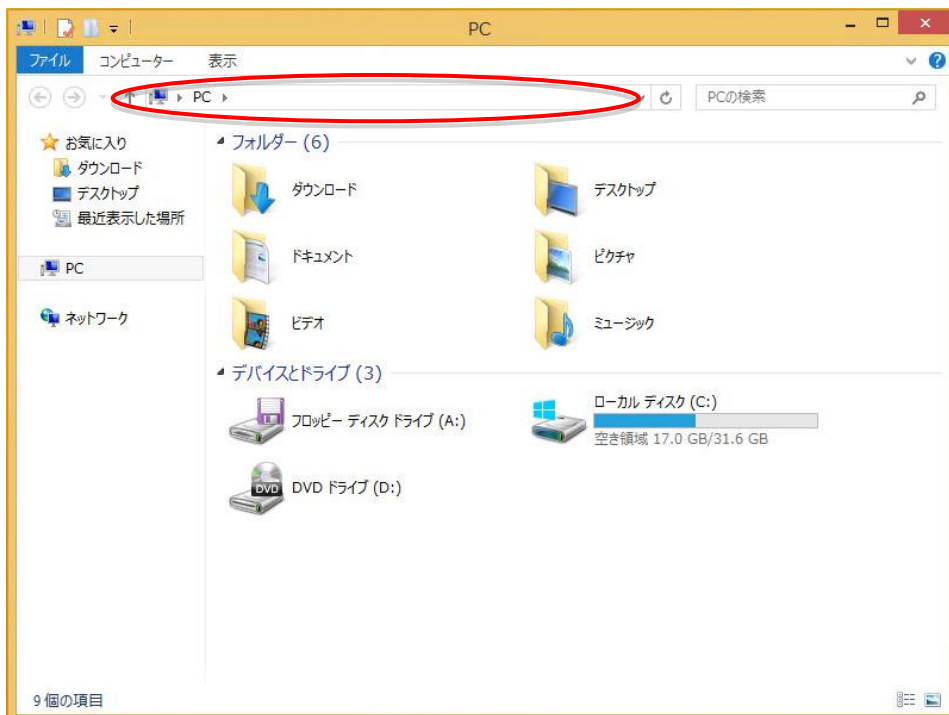
これまでの作業で、Active Directory における QNAP の使用環境が一通り揃いました。この項では、AD ユーザが QNAP の共有フォルダを使用できることを確認します。

※この作業を行うにあたって、クライアントマシンを事前に Active Directory に参加させてから作業を実施してください。

1. 共有ディレクトリへ読み取り/書き込み権限のあるユーザでクライアントマシンにログオンします。(今回の例では、「DCuser」「DCuser1」)
2. タスクバーのエクスプローラーのアイコンをクリックして開きます。



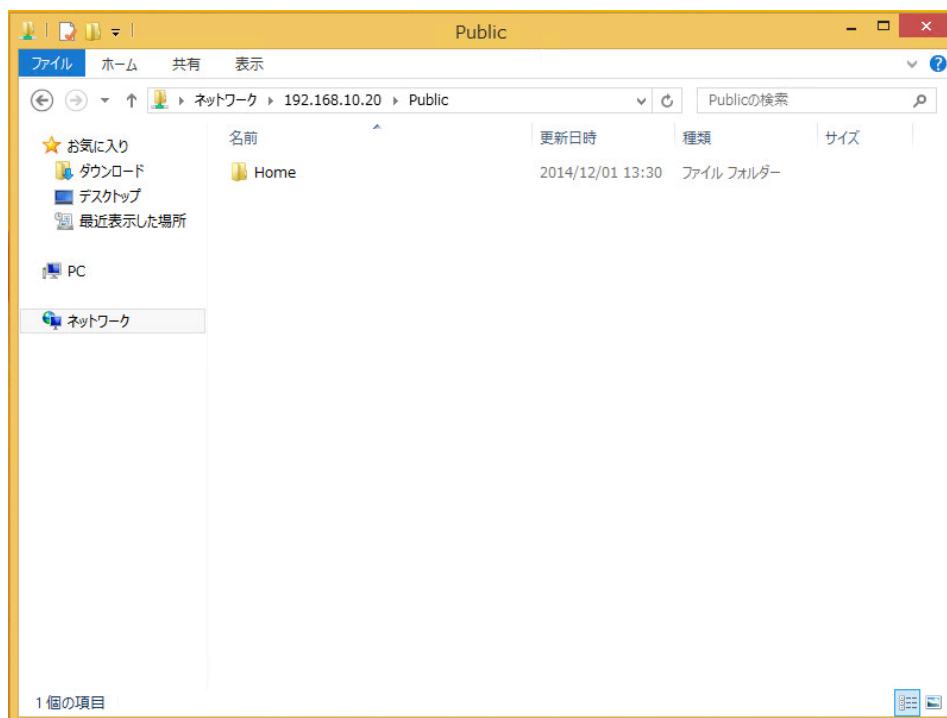
3. エクスプローラーのパス名入力欄に[¥¥QNAP の IP アドレス¥共有したフォルダ名]と入力して Enter を押します。



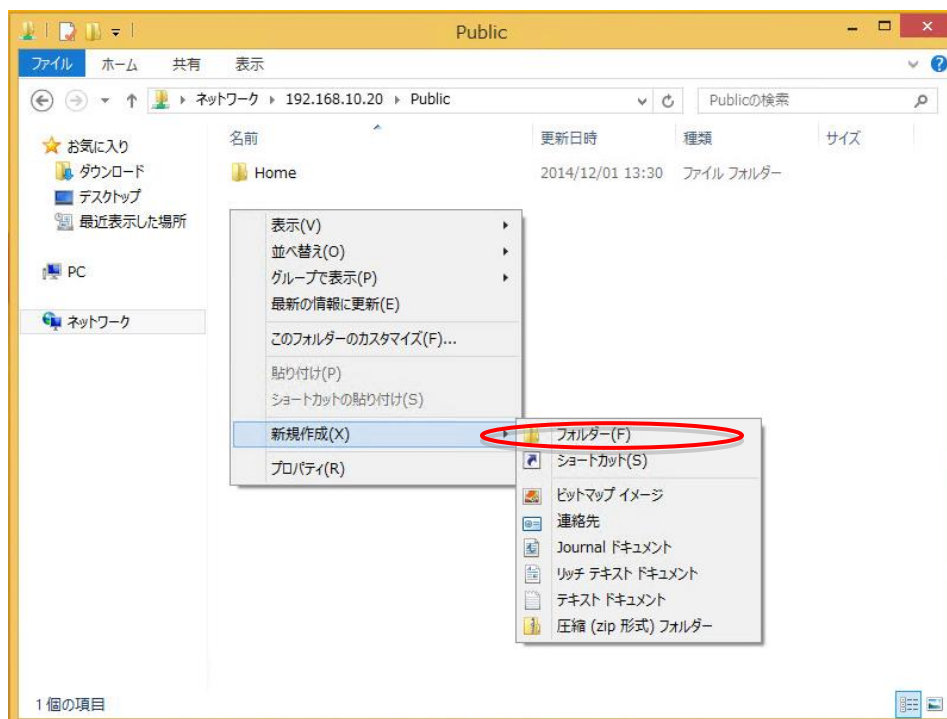


例えば、今回はQNAPのIPアドレスは192.168.10.20、共有フォルダ名はpublicですので、[¥¥192.168.10.20¥public](#)と入力します。

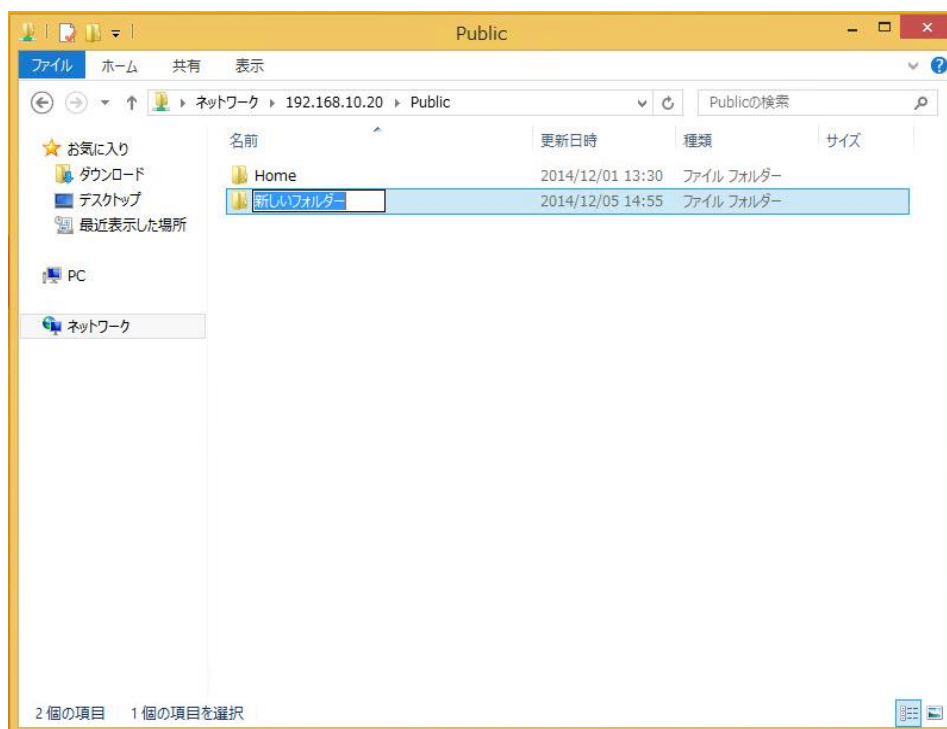
#### 4. QNAPの共有フォルダへ移動します。



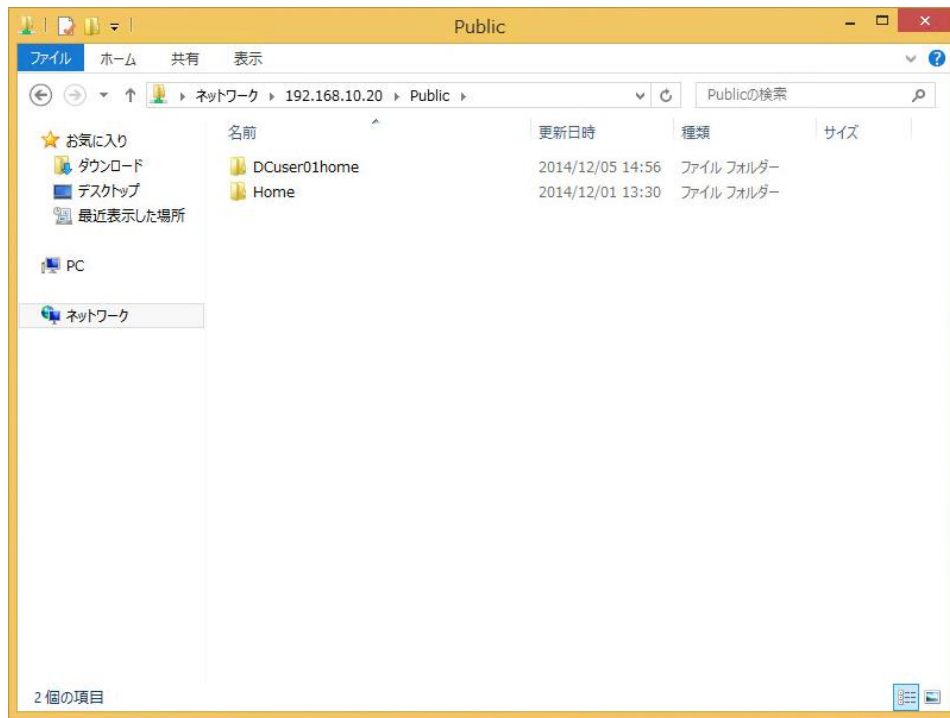
5. エクスプローラー上で右クリックしてメニューを表示して[新規作成]→[フォルダ]を選択します。



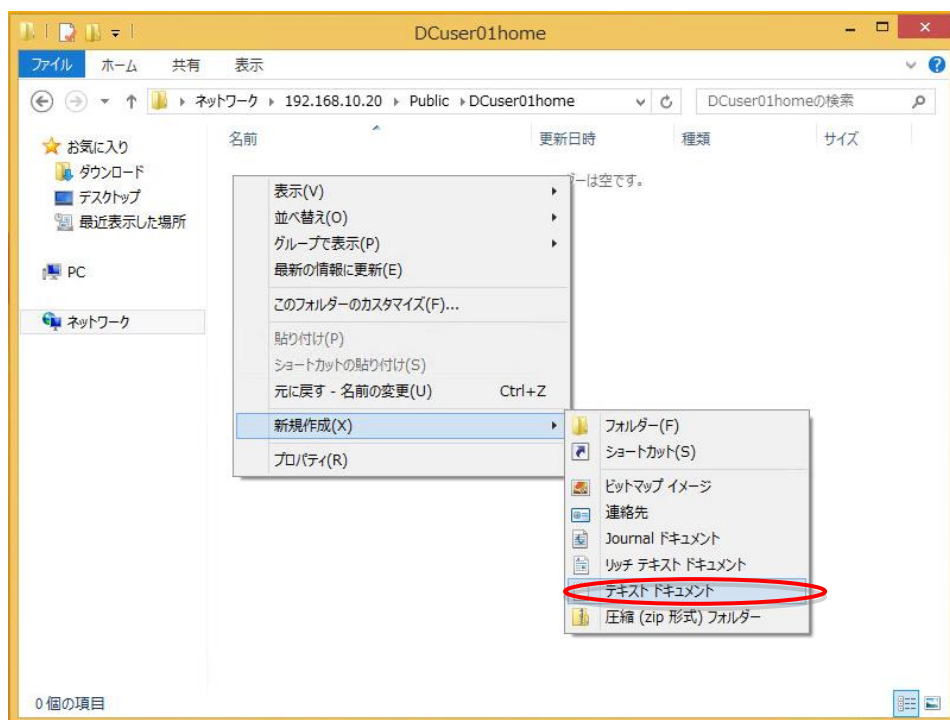
6. フォルダが作成されるので任意の名前に変更します。  
(今回は DCuser01home というフォルダ名にします。)



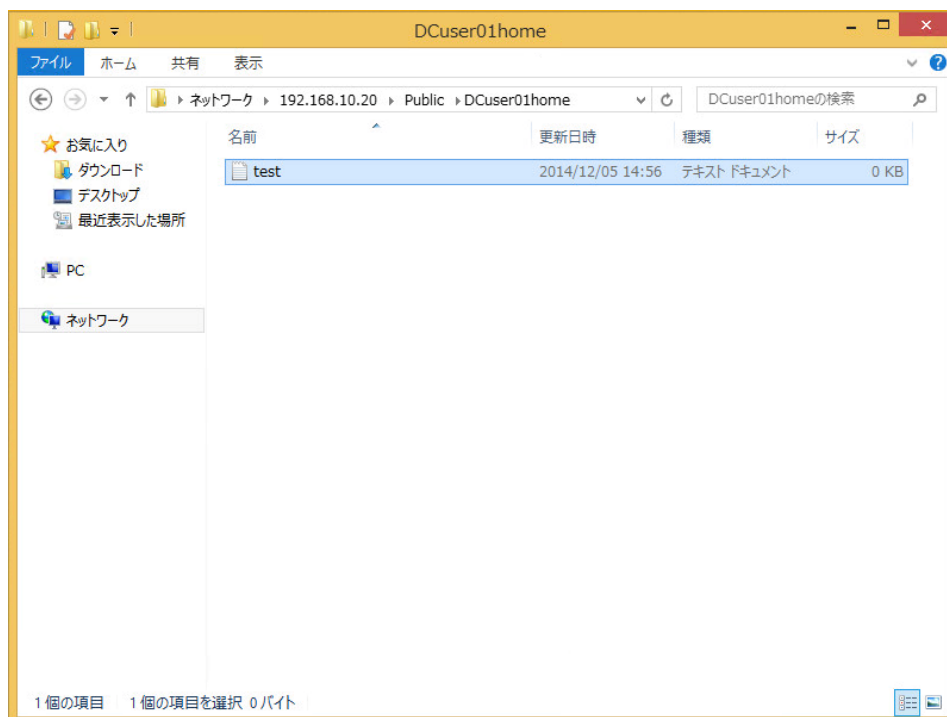
7. 作成した「DCuser01home」フォルダをダブルクリックして「DCuser01home」フォルダ配下に移動します。



8. エクスプローラー上で右クリックしてメニューを表示して[新規作成]→[テキストドキュメント]を選択します。

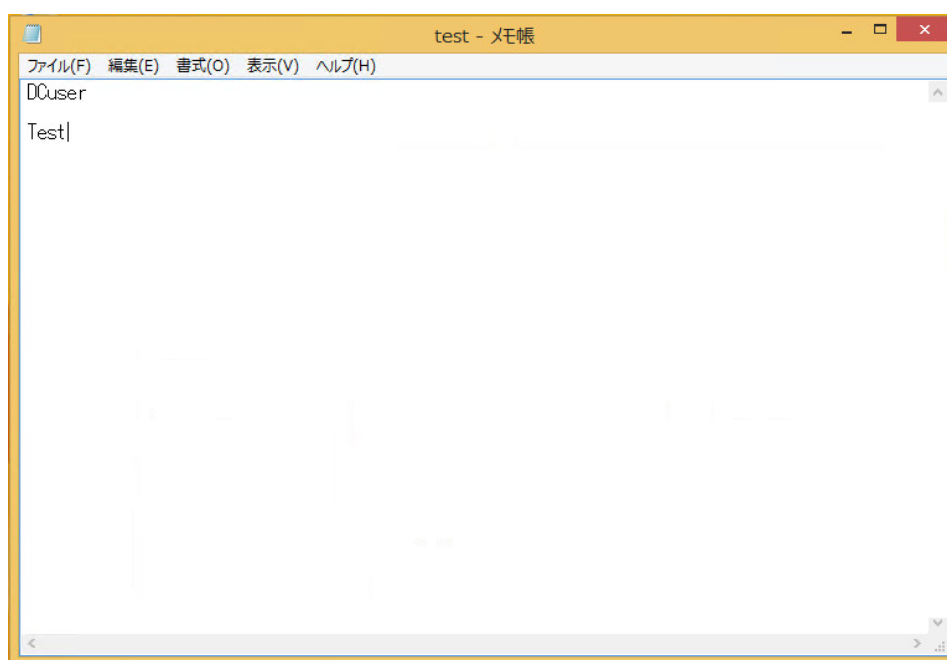


9. テキストファイルが作成されるので任意の名前に変更します。  
(今回は「test」というファイル名に変更します。)

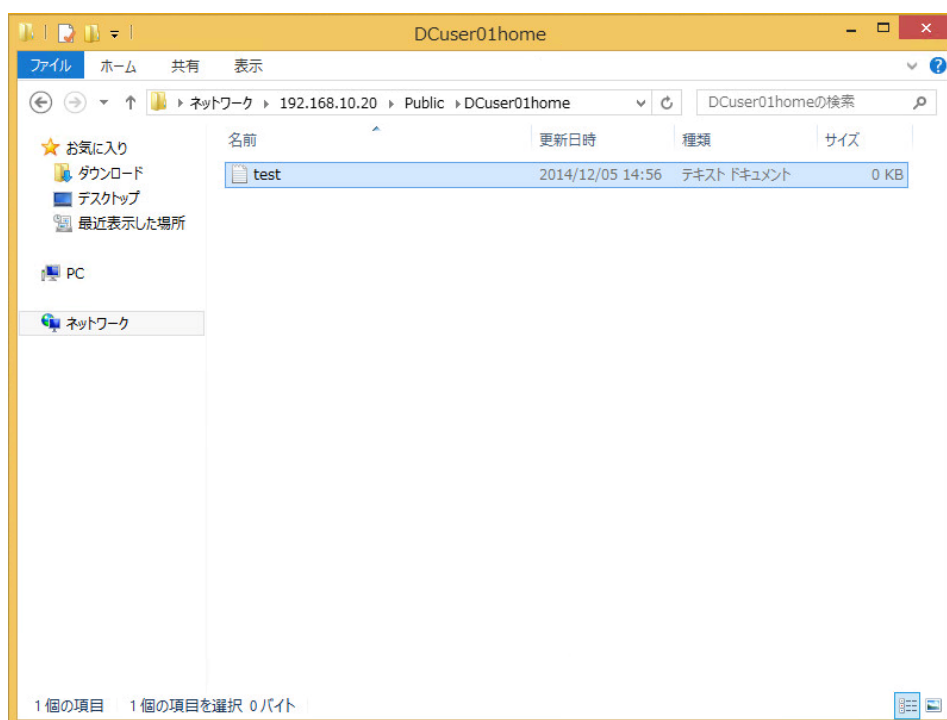


10. 作成したテキストファイル(test)をダブルクリックしてメモ帳で開きます。

11. メモ帳で適当な文字を入力して保存します。



12. 一旦編集したユーザをサインアウトします。
13. 次は共有ディレクトリの読み込み権限のみのユーザでログオンします。  
(今回の例では、「DCuser2」「DCuser3」)
14. 手順 2~4 の順番で共有ディレクトリへ移動し、手順 5、6 で作成したフォルダへ移動します。



15. テキストファイルをダブルクリックしてメモ帳で開きます。
16. 適当な文字列を入力して上書き保存を行っても、アクセスが拒否され、エラーとなることを確認します。

